

## 参考資料 1 医療機能に関する調査 集計結果

### (1) 病院票集計結果

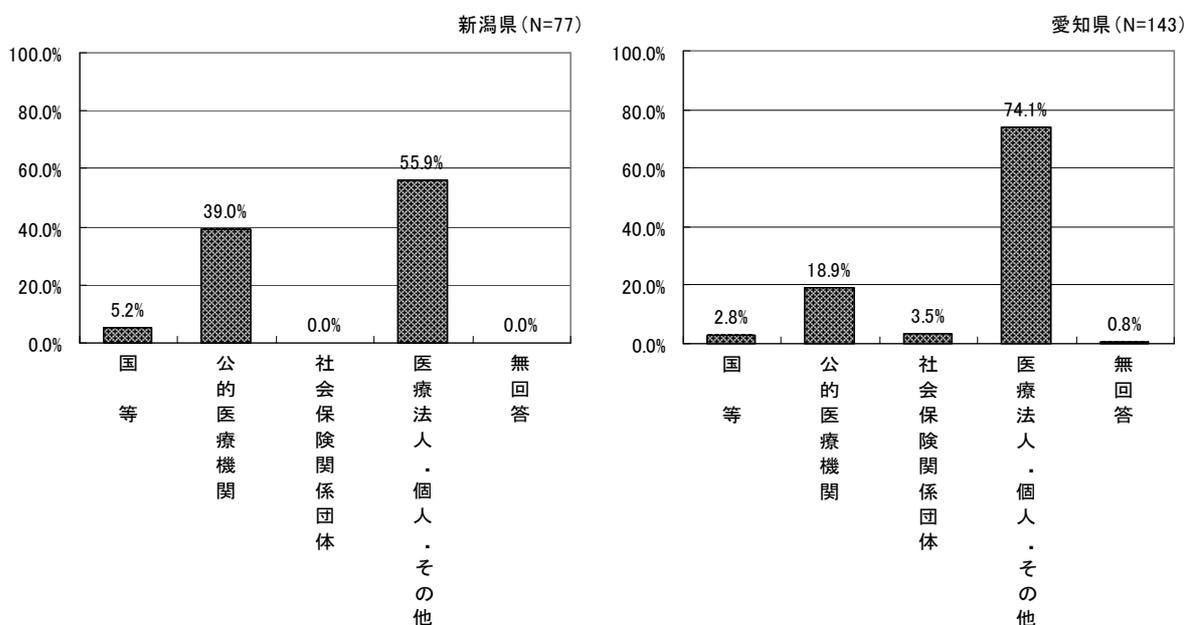
#### 1) 施設の属性

##### ア) 開設主体

開設主体は、新潟県では「医療法人・個人・その他」(55.9%)が最も多く、次いで「公的医療機関」(39.0%)、「国 等」(5.2%)であった。

また、愛知県では「医療法人・個人・その他」(74.1%)が最も多く、次いで「公的医療機関」(18.9%)、「社会保険関係団体」(3.5%)であった。

図表 18 開設主体

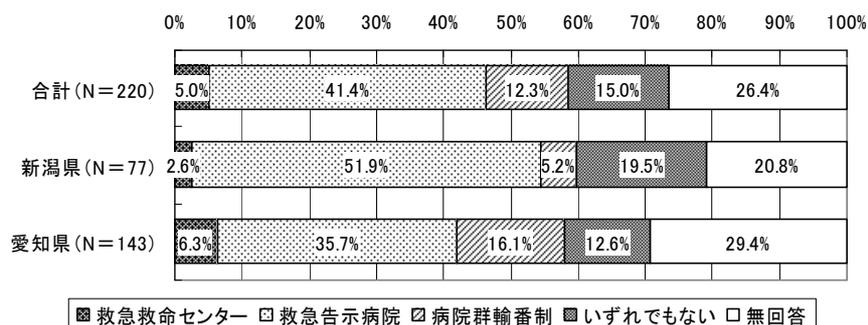


イ) 救急の状況

救急の状況は、新潟県では「救急告示病院」(51.9%)が最も多く、次いで「いずれでもない」(19.5%)、「病院群輪番制」(5.2%)であった。

また、愛知県では「救急告示病院」(35.7%)が最も多く、次いで「病院群輪番制」(16.1%)、「いずれでもない」(12.6%)であった。

図表 19 救急の状況

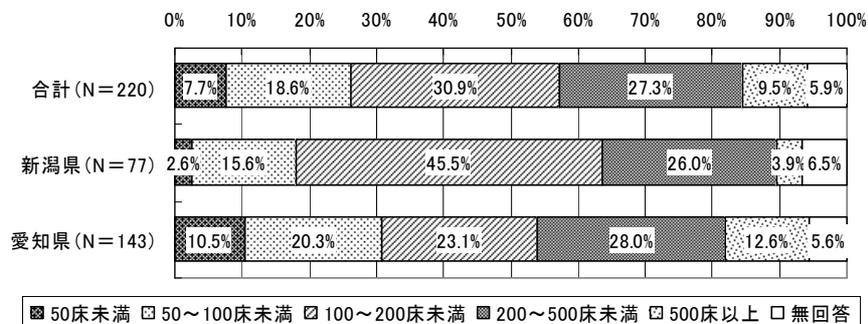


ウ) 許可病床数 (総病床数)

許可病床数 (総病床数) は、新潟県では「100~200床未満」(45.5%)が最も多く、次いで「200~500床未満」(26.0%)、「50~100床未満」(15.6%)であった。

また、愛知県では「200~500床未満」(28.0%)が最も多く、次いで「100~200床未満」(23.1%)、「50~100床未満」(20.3%)であった。

図表 20 許可病床数 (総病床数)

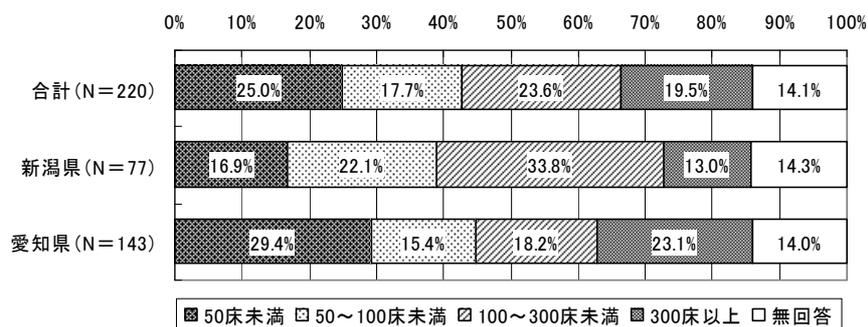


エ) 許可病床数（一般病床数）

許可病床数（一般病床数）は、新潟県では「100～300床未満」（33.8%）が最も多く、次いで「50～100床未満」（22.1%）、「50床未満」（16.9%）であった。

また、愛知県では「50床未満」（29.4%）が最も多く、次いで「300床以上」（23.1%）、「100～300床未満」（18.2%）であった。

図表 21 許可病床数（一般病床数）

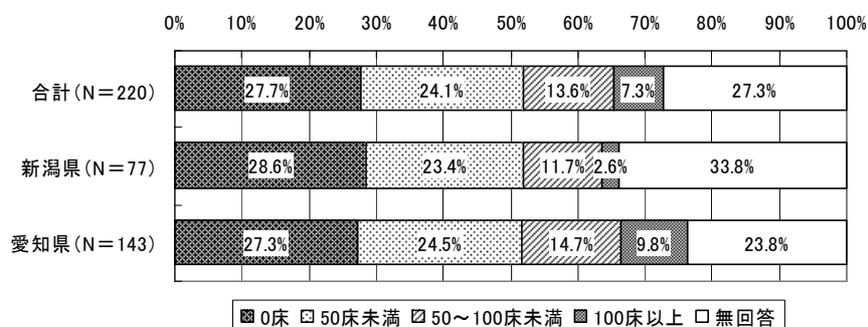


オ) 許可病床数（医療療養病床数）

許可病床数（医療療養病床数）は、新潟県では「0床」（28.6%）が最も多く、次いで「50床未満」（23.4%）、「50～100床未満」（11.7%）であった。

また、愛知県では「0床」（27.3%）が最も多く、次いで「50床未満」（24.5%）、「50～100床未満」（14.7%）であった。

図表 22 許可病床数（医療療養病床数）

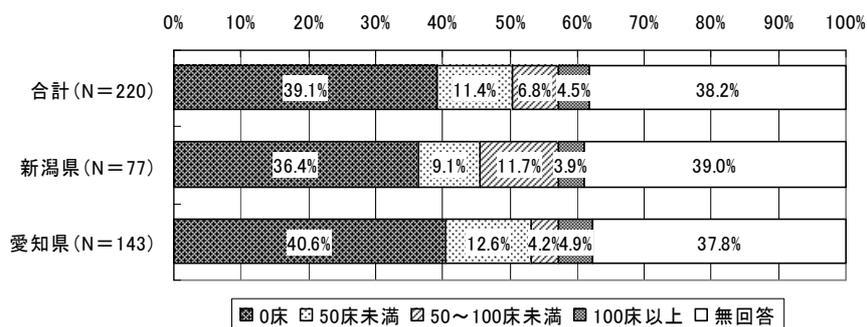


カ) 許可病床数（介護療養病床数）

許可病床数（介護療養病床数）は、新潟県では「0床」（36.4%）が最も多く、次いで「50～100床未満」（11.7%）、「50床未満」（9.1%）であった。

また、愛知県では「0床」（40.6%）が最も多く、次いで「50床未満」（12.6%）、「100床以上」（4.9%）であった。

図表 23 許可病床数（介護療養病床数）

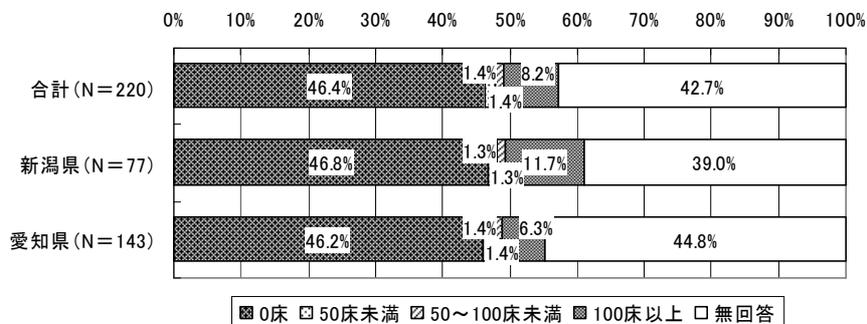


キ) 許可病床数（精神科病床数）

許可病床数（精神科病床数）は、新潟県では「0床」（46.8%）が最も多く、次いで「100床以上」（11.7%）、「50床未満」（1.3%）、「50～100床未満」（1.3%）であった。

また、愛知県では「0床」（46.2%）が最も多く、次いで「100床以上」（6.3%）、「50床未満」（1.4%）と「50～100床未満」（1.4%）であった。

図表 24 許可病床数（精神科病床数）

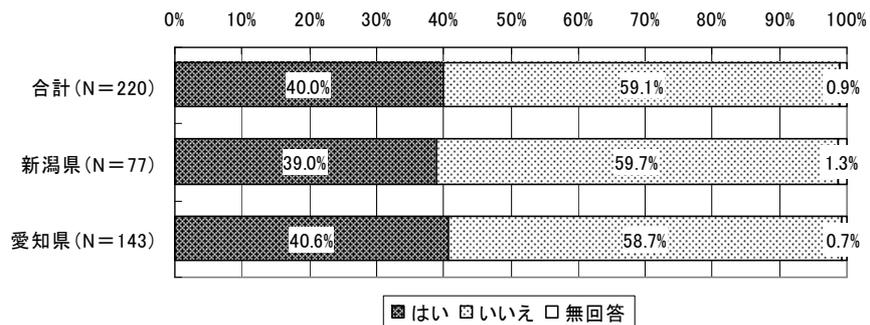


ク) 臨床研修指定病院

臨床研修指定病院については、新潟県では「はい」(39.0%)、「いいえ」(59.7%)であった。

また、愛知県では「はい」(40.6%)、「いいえ」(58.7%)であった。

図表 25 臨床研修指定病院

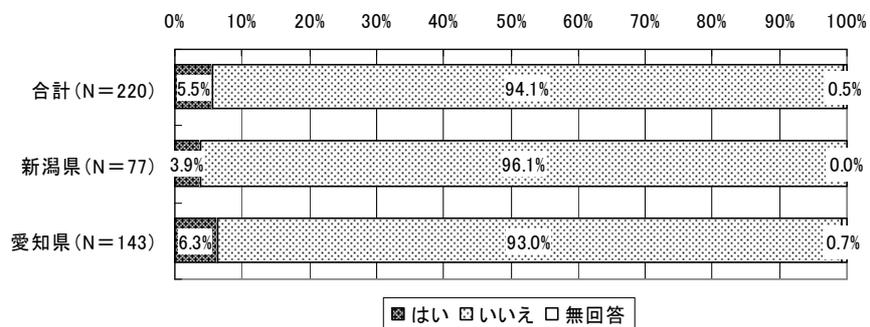


ケ) 地域医療支援病院

地域医療支援病院については、新潟県では「はい」(3.9%)、「いいえ」(96.1%)であった。

また、愛知県では「はい」(6.3%)、「いいえ」(93.0%)であった。

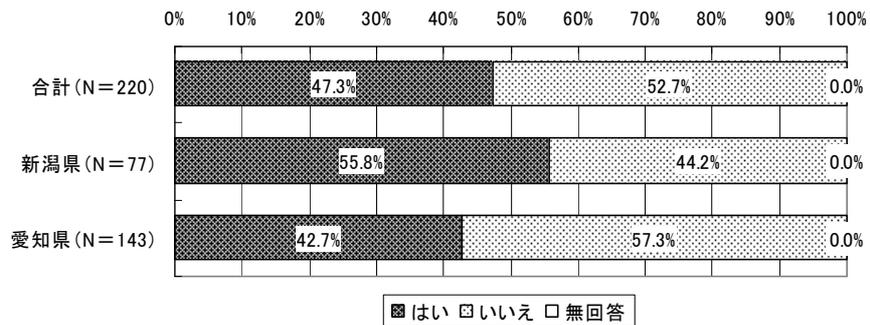
図表 26 地域医療支援病院



コ) 地域連携室の設置

地域連携室の設置の有無は、新潟県では「はい」(55.8%)、「いいえ」(44.2%)であった。  
また、愛知県では「はい」(42.7%)、「いいえ」(57.3%)であった。

図表 27 地域連携室の設置の有無

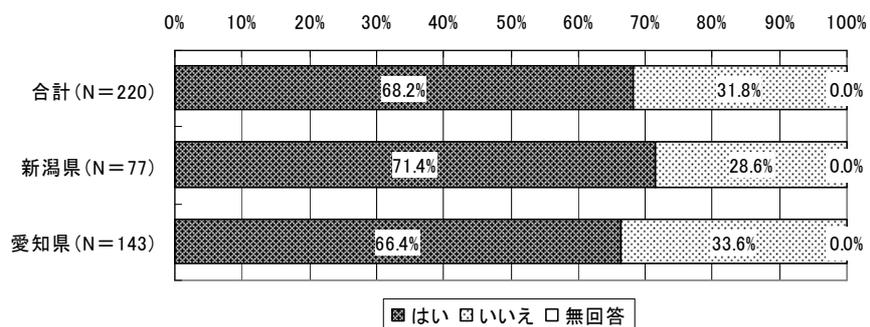


サ) 医療ソーシャルワーカー (MSW) の配置

医療ソーシャルワーカー (MSW) の配置の有無は、新潟県では「はい」(71.4%)、「いいえ」(28.6%)であった。

また、愛知県では「はい」(66.4%)、「いいえ」(33.6%)であった。

図表 28 医療ソーシャルワーカー (MSW) の配置の有無

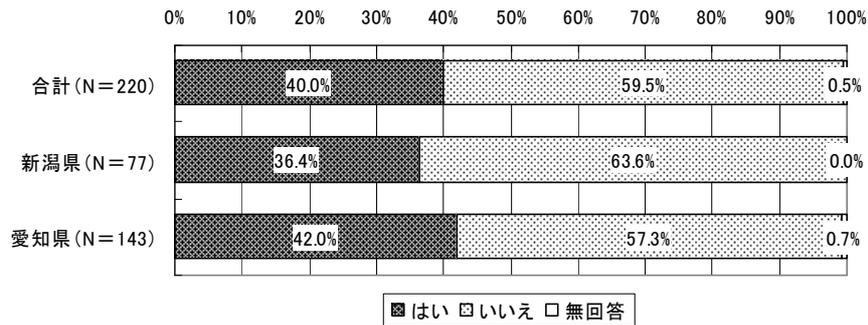


シ) 診療情報管理士の配置

診療情報管理士の配置の有無は、新潟県では「はい」(36.4%)、「いいえ」(63.6%)であった。

また、愛知県では「はい」(42.0%)、「いいえ」(57.3%)であった。

図表 29 診療情報管理士の配置の有無

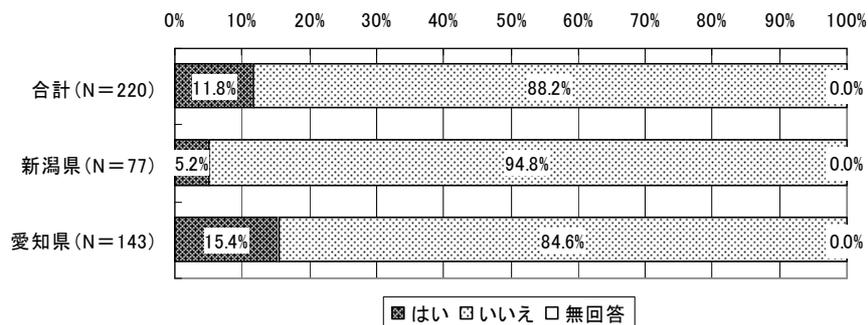


ス) 電子カルテの導入

電子カルテの導入の有無は、新潟県では「はい」(5.2%)、「いいえ」(94.8%)であった。

また、愛知県では「はい」(15.4%)、「いいえ」(84.6%)であった。

図表 30 電子カルテの導入の有無

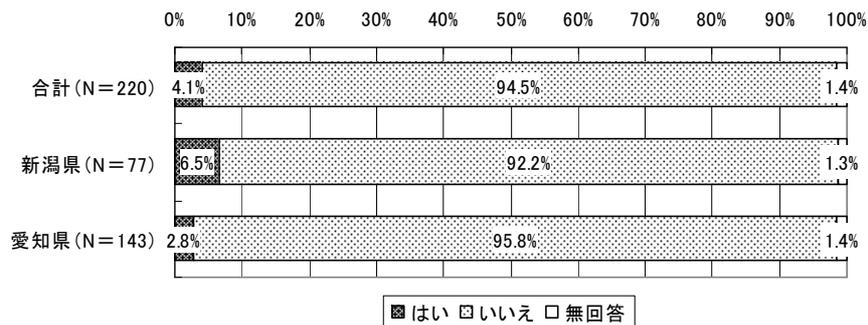


セ) 診療報酬のオンライン請求システムの導入

診療報酬のオンライン請求システムの導入の有無は、新潟県では「はい」(6.5%)、「いいえ」(92.2%)であった。

また、愛知県では「はい」(2.8%)、「いいえ」(95.8%)であった。

図表 31 診療報酬のオンライン請求システムの導入の有無

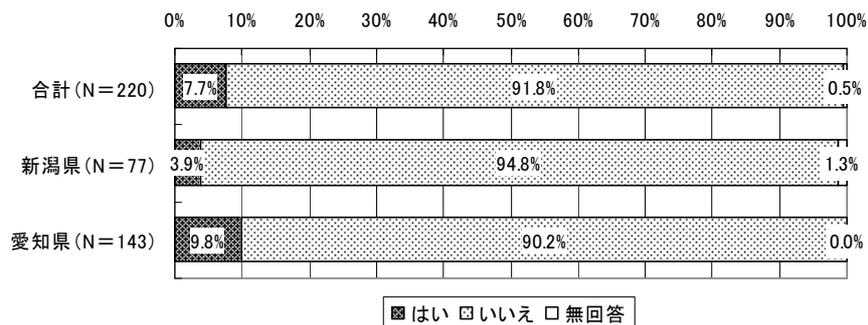


ソ) DPC への参加

DPC への参加の有無は、新潟県では「はい」(3.9%)、「いいえ」(94.8%)であった。

また、愛知県では「はい」(9.8%)、「いいえ」(90.2%)であった。

図表 32 DPC への参加の有無



## 2) 1ヶ月間の診療実績

### ア) 1ヶ月間の外来・入院実患者数

平成19年1月1ヶ月間（1月1日～1月31日）の外来・入院実患者数は、以下のとおりであった。

図表 33 平成19年1月1ヶ月間の外来・入院実患者数

(単位：人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
外来実患者数	77	4,977.65	5,253.37	142	8,144.00	21,073.24
新規外来実患者数	77	682.12	746.04	143	945.60	1,163.38
入院実患者数	77	600.36	1,239.44	143	1,132.55	2,538.38
新規入院実患者数	77	166.27	226.61	143	252.78	409.30
退院実患者数	77	161.97	225.51	143	236.11	352.30

### イ) 1ヶ月間の紹介実患者数（外来・入院合計）

平成19年1月1ヶ月間（1月1日～1月31日）の紹介実患者数（外来・入院合計）は、以下のとおりであった。

図表 34 平成19年1月1ヶ月間の紹介実患者数（外来・入院合計）

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
他医療機関から紹介された実患者数（人）	77	124.63	213.00	143	242.45	385.25
救急車により搬送された実患者数（人）	77	56.69	100.95	143	87.87	153.13
紹介元医療機関実数（人）	77	34.84	48.64	143	73.09	126.76
他医療機関への紹介実患者数（人）	77	98.24	168.07	143	181.63	314.90
紹介先医療機関実数（施設）	77	24.93	34.77	143	53.16	92.24

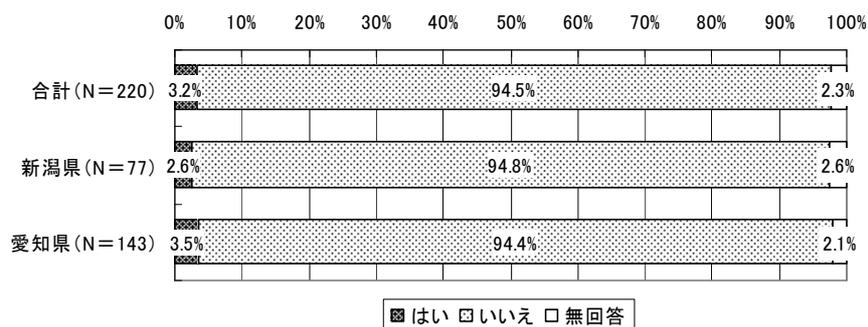
### 3) がん診療体制

#### ア) がん診療拠点病院

がん診療拠点病院については、新潟県では「はい」(2.6%)、「いいえ」(94.8%)であった。

また、愛知県では「はい」(3.5%)、「いいえ」(94.4%)であった。

図表 35 がん診療拠点病院

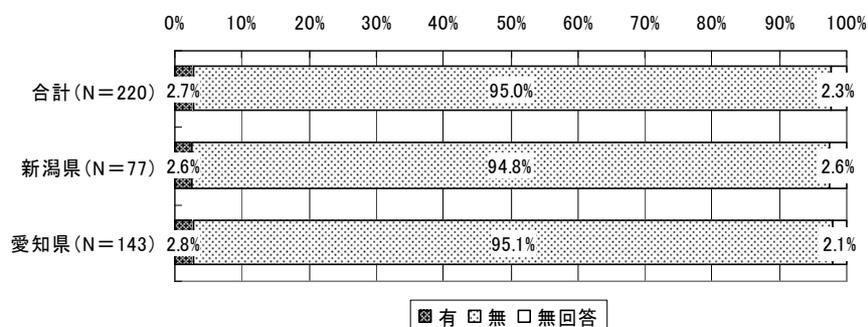


#### イ) 緩和ケア病棟の設置

緩和ケア病棟の設置の有無は、新潟県では「有」(2.6%)、「無」(94.8%)であった。「有」の場合、平均値は 10.50 病棟、標準偏差は 9.50 であった。

また、愛知県では「有」(2.8%)、「無」(95.1%)であった。「有」の場合、平均値は 1.00 病棟、標準偏差は 0.00 であった。

図表 36 緩和ケア病棟の設置の有無

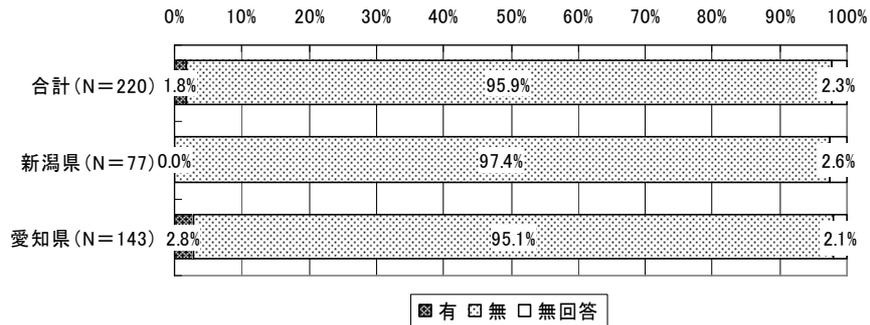


ウ) 緩和ケア病床の設置

緩和ケア病床の設置の有無は、新潟県では「有」(0.0%)、「無」(97.4%)であった。

また、愛知県では「有」(2.8%)、「無」(95.1%)であった。「有」の場合、病床数の平均値は17.33床、標準偏差は1.70であった。

図表 37 緩和ケア病床の設置の有無

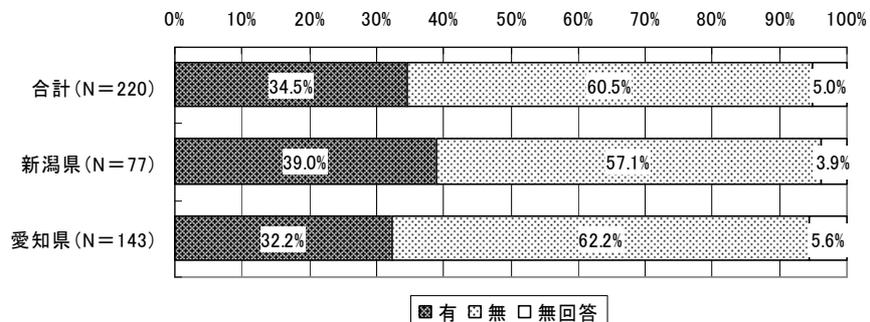


エ) 外来化学療法の実績

外来化学療法の実績の有無は、新潟県では「有」(39.0%)、「無」(57.1%)で、「有」の場合、平成18年1年間の実績の平均値は461.21床、標準偏差は440.62であった。

また、愛知県では「有」(32.2%)、「無」(62.2%)で、「有」の場合、平成18年1年間の実績の平均値は827.82床、標準偏差は1,031.60であった。

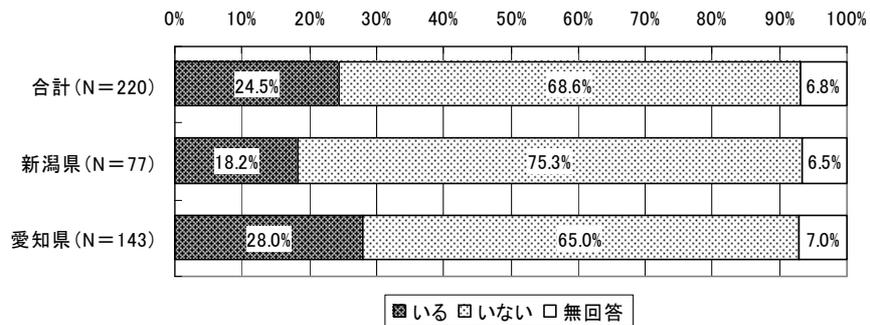
図表 38 外来化学療法の実績の有無



オ) 病理診断医

病理診断医の有無は、新潟県では「いる」(18.2%)、「いない」(75.3%)であった。  
また、愛知県では「いる」(28.0%)、「いない」(65.0%)であった。

図表 39 病理診断医の有無

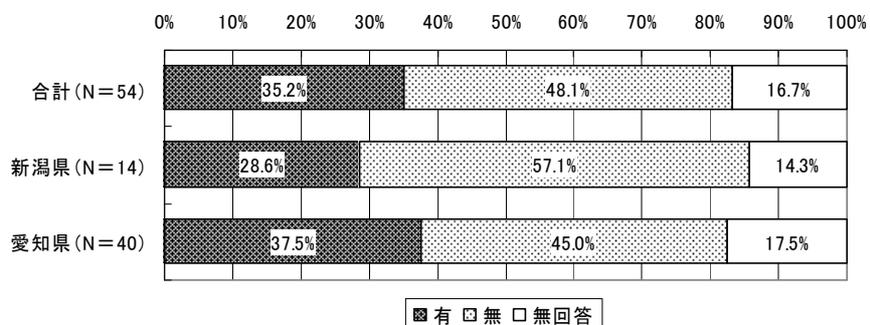


カ) 外部の病理診断の実績 (病理診断医がいる場合)

外部の病理診断の実績の有無 (病理診断医がいる場合) は、新潟県では「有」(28.6%)、「無」(57.1%)で、「有」の場合、平成 18 年 1 年間の実績の平均値は 5,539.50 件、標準偏差は 6,016.19 であった。

また、愛知県では「有」(37.5%)、「無」(45.0%)で、「有」の場合、平成 18 年 1 年間の実績の平均値は 1,835.38 件、標準偏差は 2,953.19 であった。

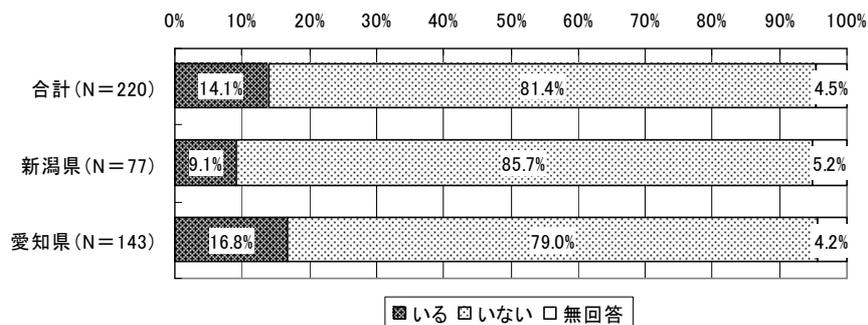
図表 40 外部の病理診断の実績の有無 (病理診断医がいる場合)



キ) 放射線治療医

放射線治療医の有無は、新潟県では「いる」(9.1%)、「いない」(85.7%)であった。  
また、愛知県では「いる」(16.8%)、「いない」(79.0%)であった。

図表 41 放射線治療医の有無

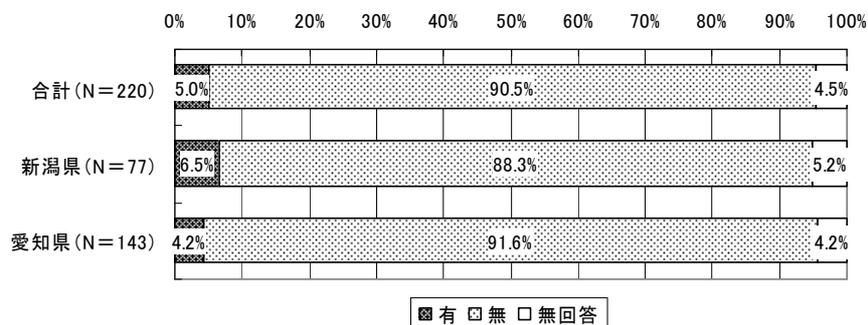


ク) がんの訪問診療の実施

がんの訪問診療の実施の有無は、新潟県では「有」(6.5%)、「無」(88.3%)で、「有」の場合、平成18年の延件数の平均値は14.00件、標準偏差は15.62であった。

また、愛知県では「有」(4.2%)、「無」(91.6%)で、「有」の場合、平成18年の延件数の平均値は9.25件、標準偏差は9.73であった。

図表 42 がんの訪問診療の実施の有無

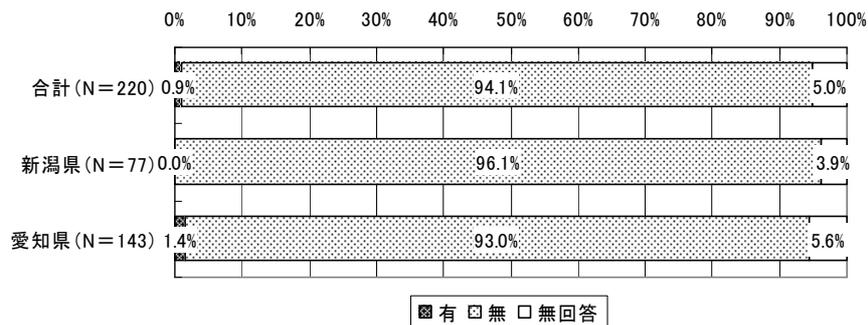


ケ) がんの地域連携パス

がんの地域連携パスの有無は、新潟県では「有」(0.0%)、「無」(96.1%)であった。

また、愛知県では「有」(1.4%)、「無」(93.0%)であった。「有」の場合、パスの個数の平均値は 5.50 個、標準偏差は 3.50 であった。

図表 43 がんの地域連携パスの有無



コ) 1ヶ月間のがん患者の状況

平成 19 年 1 月 1 ヶ月間 (1 月 1 日～1 月 31 日) のがん患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 44 平成 19 年 1 月 1 ヶ月間のがん患者の状況

(単位：人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
外来実患者数	35	755.31	764.59	55	751.72	1,108.25
新規外来実患者数	35	86.81	119.02	55	71.03	123.76
入院患者数	35	118.59	125.16	55	119.59	130.51
新規入院実患者数	35	62.04	75.97	55	67.95	88.18

サ) 1ヶ月間に紹介を受けたがん患者の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)に紹介を受けたがん患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 45 平成19年1月1ヶ月間に紹介を受けたがん患者の状況

(単位:人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
他院からの紹介実患者数	35	37.75	63.41	55	34.42	55.27
うち診療所からの紹介実患者数	35	19.81	34.48	55	23.90	40.75
うち病院からの紹介実患者数	35	9.20	12.08	55	12.13	20.70
紹介患者数のうち入院した実患者数	35	9.18	11.55	55	10.59	15.30

シ) 1ヶ月間の転帰の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)の転帰の状況は、以下のとおりであった。

図表 46 平成19年1月1ヶ月間の転帰の状況

(単位:人)

	新潟県			愛知県			
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差	
退院実患者数	35	53.79	61.21	55	74.65	77.73	
転帰	他病院	35	2.20	4.60	55	3.32	4.87
	診療所	35	1.58	3.31	55	3.55	10.41
	自宅	35	26.45	31.50	55	52.97	63.11
	施設	35	0.26	0.44	55	0.21	0.64
	死亡退院	35	6.91	4.32	55	11.27	9.78

ス) 1ヶ月間に紹介したがん患者の状況（外来・入院の別を問わず）

平成19年1月1ヶ月間（1月1日～1月31日）に紹介したがん患者の状況（外来・入院の別を問わず）は、以下のとおりであった。

図表 47 平成19年1月1ヶ月間に紹介したがん患者の状況（外来・入院の別を問わず）

（単位：人）

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
総数	35	19.80	34.55	55	43.55	77.04
診療所への紹介実患者数	35	7.84	14.38	55	19.03	43.30
病院への紹介実患者数	35	8.05	9.58	55	19.84	36.16

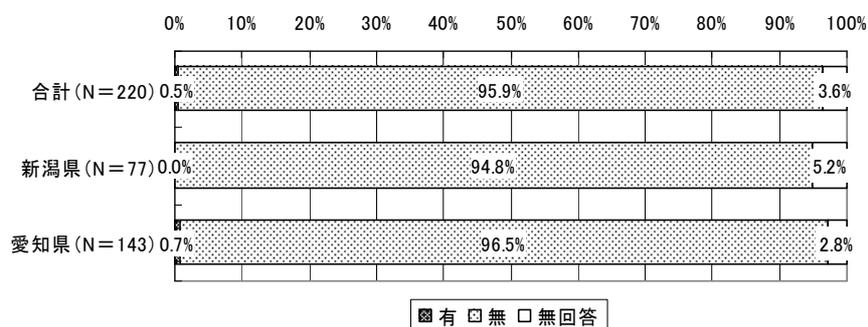
#### 4) 脳卒中診療体制

##### ア) 脳卒中ケアユニットの設置

脳卒中ケアユニットの設置の有無は、新潟県では「有」(0.0%)、「無」(94.8%)であった。

また、愛知県では「有」(0.7%)、「無」(96.5%)であった。「有」の場合、平均値は2.00床、標準偏差は0.00であった。

図表 48 脳卒中ケアユニットの設置の有無

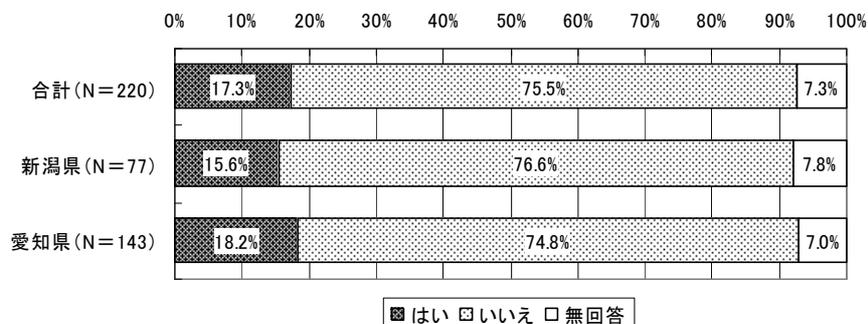


##### イ) 脳梗塞患者への t PA 投与の実績

脳梗塞患者への t PA 投与の実績の有無は、新潟県では「はい」(15.6%)、「いいえ」(76.6%)で、「はい」の場合、平成 18 年 1 年間の実績の平均値は 10.91 件、標準偏差は 19.78 であった。

また、愛知県では「はい」(15.2%)、「いいえ」(77.6%)で、「はい」の場合、平均値は 8.00 件、標準偏差は 7.26 であった。

図表 49 脳梗塞患者への t PA 投与の実績の有無

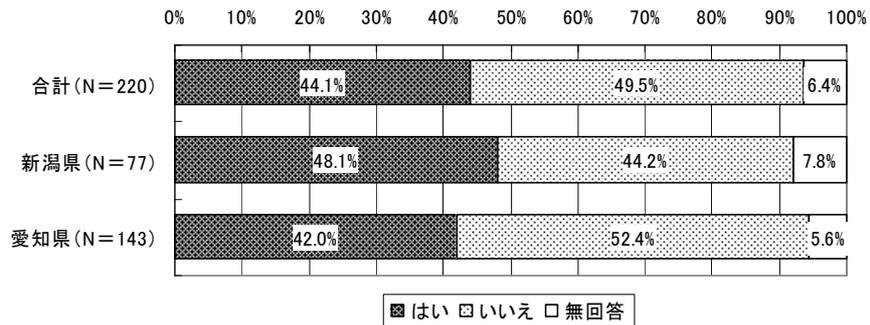


ウ) 脳卒中の救急に対応した実績

脳卒中の救急に対応した実績の有無は、新潟県では「はい」(48.1%)、「いいえ」(44.2%)であった。

また、愛知県では「はい」(42.0%)、「いいえ」(52.4%)であった。

図表 50 脳卒中救急に対応した実績の有無



エ) 1ヶ月間の脳卒中患者の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日~1月31日)の脳卒中患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 51 平成19年1月1ヶ月間の脳卒中患者の状況

(単位:人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
救急実患者数	37	19.88	23.11	61	20.51	30.49
入院実患者数	37	48.15	47.18	61	37.83	39.96
新規入院実患者数	37	24.72	24.56	61	17.51	21.57

オ) 1ヶ月間の脳卒中患者の転帰の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)の脳卒中患者の転帰の状況は、以下のとおりであった。

図表 52 平成19年1月1ヶ月間の脳卒中患者の転帰の状況

(単位：人)

		新潟県			愛知県		
		N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
退院実患者数		37	20.65	21.95	61	18.40	20.04
転帰	他病院	37	3.57	4.99	61	3.71	5.16
	診療所	37	2.10	4.21	61	1.95	2.78
	自宅	37	12.45	13.56	61	8.50	8.41
	施設	37	1.57	1.47	61	0.98	1.29
	死亡退院	37	2.74	2.44	61	2.41	2.55

カ) 1ヶ月間に他院へ紹介した脳卒中退院患者の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)に他院へ紹介した脳卒中退院患者の状況は、以下のとおりであった。

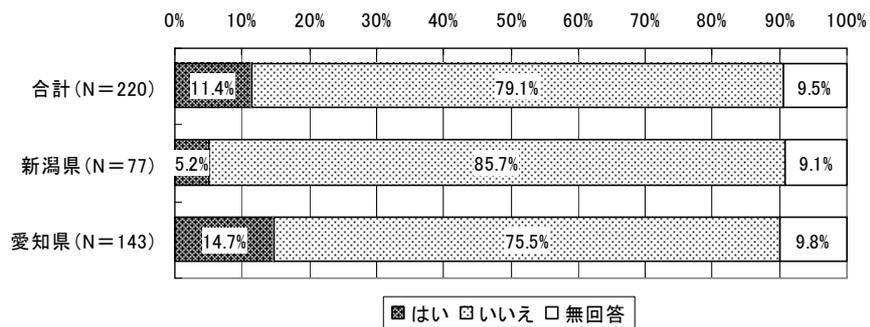
図表 53 平成19年1月1ヶ月間に他院へ紹介した脳卒中退院患者の状況

(単位：人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
総数	37	7.36	12.32	61	8.53	12.99
診療所への紹介実患者数	37	3.48	8.50	61	2.38	3.10
病院への紹介実患者数	37	3.79	5.11	61	3.91	5.22

キ) 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中の回復期リハビリテーションの実績  
 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中の回復期リハビリテーションの実績の有無は、新潟県では「はい」(5.2%)、「いいえ」(85.7%)であった。  
 また、愛知県では「はい」(14.7%)、「いいえ」(75.5%)であった。

図表 54 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中の回復期リハビリテーションの実績の有無



ク) 1ヶ月間の回復期リハビリテーション病棟の状況  
 平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)の回復期リハビリテーション病棟の状況は、以下のとおりであった。

図表 55 平成19年1月1ヶ月間の回復期リハビリテーション病棟の状況

(単位：人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
入院実患者数	4	67.00	17.56	21	65.78	28.69
うち脳卒中実患者数	4	43.00	23.10	21	35.11	19.23
新規入院脳卒中実患者数	4	13.25	9.34	21	9.24	5.64

ケ) 1ヶ月間に紹介を受けた回復期リハビリテーション病棟の脳卒中患者の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)に紹介を受けた回復期リハビリテーション病棟の脳卒中患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 56 平成19年1月1ヶ月間に紹介を受けた回復期リハビリテーション病棟の脳卒中患者の状況

(単位：人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
他院からの紹介実患者数	4	9.00	11.90	21	10.55	8.78
うち診療所からの紹介実患者数	4	0.00	0.00	21	1.25	4.59
うち病院からの紹介実患者数	4	9.00	11.90	21	9.63	8.71

コ) 1ヶ月間の回復期リハビリテーション病棟からの脳卒中退院患者の転帰の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)の回復期リハビリテーション病棟からの脳卒中退院患者の転帰の状況は、以下のとおりであった。

図表 57 平成19年1月1ヶ月間の回復期リハビリテーション病棟からの脳卒中退院患者の転帰の状況

(単位：人)

		新潟県			愛知県		
		N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
退院実患者数		4	10.50	4.15	21	8.74	6.53
転帰	他病院	4	2.75	1.30	21	1.50	2.85
	診療所	4	1.33	1.89	21	0.77	1.05
	自宅	4	4.50	4.50	21	5.95	4.36
	施設	4	3.00	2.16	21	1.63	1.41
	死亡退院	4	0.00	0.00	21	0.42	1.11

サ) 1ヶ月間に他院へ紹介した脳卒中退院患者の状況(回復期リハビリテーション病棟からの退院患者)

平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)に他院へ紹介した脳卒中退院患者の状況(回復期リハビリテーション病棟からの退院患者)は、以下のとおりであった。

図表 58 平成19年1月1ヶ月間に他院へ紹介した脳卒中退院患者の状況(回復期リハビリテーション病棟からの退院患者)

(単位:人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
総数	4	3.25	3.42	21	3.37	3.84
診療所への紹介実患者数	4	1.33	1.89	21	1.12	1.37
病院への紹介実患者数	4	2.25	1.79	21	1.53	1.93

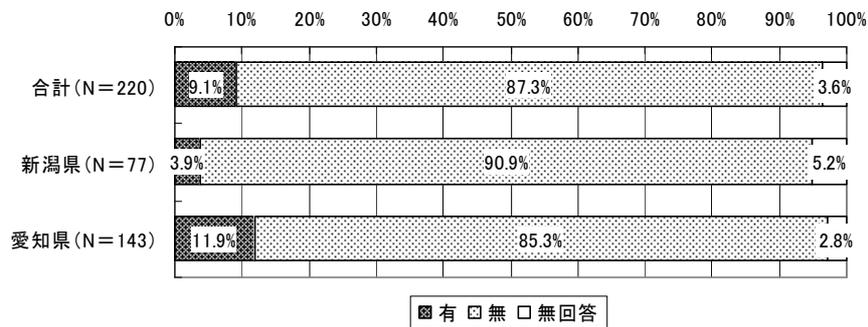
## 5) 急性心筋梗塞診療体制

### ア) 循環器疾患ケアユニットの設置

循環器疾患ケアユニットの設置の有無は、新潟県では「有」(3.9%)、「無」(90.9%)で、「有」の場合、病床数の平均値は2.67床、標準偏差は0.94であった。

また、愛知県では「有」(11.9%)、「無」(85.3%)で、「有」の場合、病床数の平均値は6.60床、標準偏差は4.96であった。

図表 59 循環器疾患ケアユニットの有無

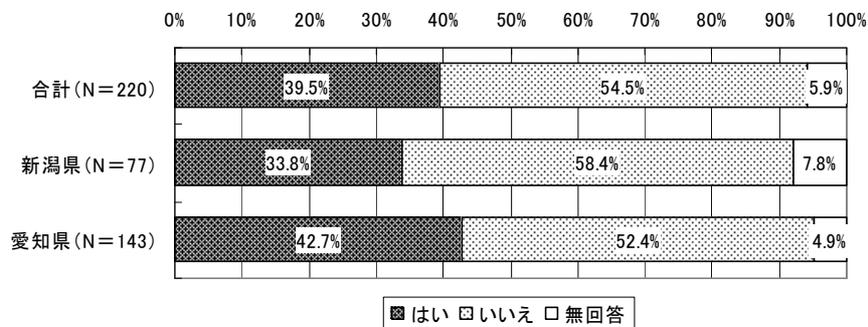


### イ) 急性心筋梗塞の救急に対応した実績

急性心筋梗塞の救急に対応した実績の有無は、新潟県では「はい」(33.8%)、「いいえ」(58.4%)であった。

また、愛知県では「はい」(42.7%)、「いいえ」(52.4%)であった。

図表 60 急性心筋梗塞の救急に対応した実績の有無



ウ) 1ヶ月間の急性心筋梗塞患者の状況

平成19年1月1ヶ月間（1月1日～1月31日）の急性心筋梗塞患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 61 平成19年1月1ヶ月間の急性心筋梗塞患者の状況

(単位：人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
救急実患者数	26	5.13	6.76	61	8.43	13.10
入院実患者数	26	9.45	14.40	61	13.87	34.99
新規入院実患者数	26	6.33	8.80	61	9.96	27.94

エ) 1ヶ月間の急性心筋梗塞患者の転帰の状況

平成19年1月1ヶ月間（1月1日～1月31日）の急性心筋梗塞患者の転帰の状況は、以下のとおりであった。

図表 62 平成19年1月1ヶ月間の急性心筋梗塞患者の転帰の状況

(単位：人)

		新潟県			愛知県		
		N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
退院実患者数		26	5.19	8.31	61	9.98	34.61
転帰	他病院	26	1.00	1.68	61	0.35	0.67
	診療所	26	0.92	2.16	61	1.29	3.26
	自宅	26	3.77	5.28	61	8.70	33.80
	施設	26	0.17	0.37	61	0.26	0.91
	死亡退院	26	1.36	1.76	61	0.90	0.98

オ) 1ヶ月間に他院へ紹介した急性心筋梗塞退院患者の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)に他院へ紹介した急性心筋梗塞退院患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 63 平成19年1月1ヶ月間に他院へ紹介した急性心筋梗塞退院患者の状況

(単位：人)

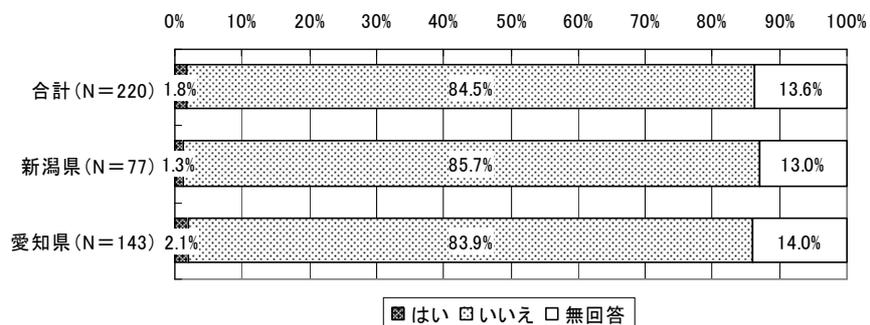
	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
総数	26	1.84	4.15	61	2.13	4.07
診療所への紹介実患者数	26	0.63	1.96	61	1.26	3.27
病院への紹介実患者数	26	0.93	1.57	61	0.56	1.46

カ) 回復期リハビリテーション病棟における急性心筋梗塞の回復期リハビリテーションの実績

回復期リハビリテーション病棟における急性心筋梗塞の回復期リハビリテーションの実績の有無は、新潟県では「はい」(1.3%)、「いいえ」(85.7%)であった。

また、愛知県では「はい」(2.1%)、「いいえ」(83.9%)であった。

図表 64 回復期リハビリテーション病棟における急性心筋梗塞の回復期リハビリテーションの実績の有無



キ) 1ヶ月間の回復期リハビリテーション病棟の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)の回復期リハビリテーション病棟の状況は、以下のとおりであった。

図表 65 平成19年1月1ヶ月間の回復期リハビリテーション病棟の状況

(単位：人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
入院実患者数	1	65.00	0.00	3	21.00	13.00
うち脳卒中実患者数	1	1.00	0.00	3	4.00	4.00
新規入院脳卒中実患者数	1	0.00	0.00	3	3.50	3.50

ク) 1ヶ月間に紹介を受けた回復期リハビリテーション病棟の急性心筋梗塞患者の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)に紹介を受けた回復期リハビリテーション病棟の急性心筋梗塞患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 66 平成19年1月1ヶ月間に紹介を受けた回復期リハビリテーション病棟の急性心筋梗塞患者の状況

(単位：人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
他院からの紹介実患者数	1	0.00	0.00	3	2.00	1.00
うち診療所からの紹介実患者数	1	0.00	0.00	3	1.50	0.50
うち病院からの紹介実患者数	1	0.00	0.00	3	1.00	0.00

ケ) 1ヶ月間の回復期リハビリテーション病棟からの急性心筋梗塞退院患者の転帰の状況  
 平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)の回復期リハビリテーション病棟からの急性心筋梗塞退院患者の転帰の状況は、以下のとおりであった。

図表 67 平成19年1月1ヶ月間の回復期リハビリテーション病棟からの急性心筋梗塞退院患者の転帰の状況

(単位：人)

		新潟県			愛知県		
		N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
退院実患者数		1	0.00	0.00	3	1.33	1.89
転帰	他病院	1	0.00	0.00	3	0.00	0.00
	診療所	1	0.00	0.00	3	0.00	0.00
	自宅	1	0.00	0.00	3	0.33	0.47
	施設	1	0.00	0.00	3	0.67	0.94
	死亡退院	1	0.00	0.00	3	0.33	0.47

コ) 1ヶ月間に他院へ紹介した急性心筋梗塞退院患者の状況(回復期リハビリテーション病棟からの退院患者)

平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)に他院へ紹介した急性心筋梗塞退院患者の状況(回復期リハビリテーション病棟からの退院患者)は、以下のとおりであった。

図表 68 平成19年1月1ヶ月間に他院へ紹介した急性心筋梗塞退院患者の状況(回復期リハビリテーション病棟からの退院患者)

(単位：人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
総数	1	0.00	0.00	3	0.00	0.00
診療所への紹介実患者数	1	0.00	0.00	3	0.00	0.00
病院への紹介実患者数	1	0.00	0.00	3	0.00	0.00

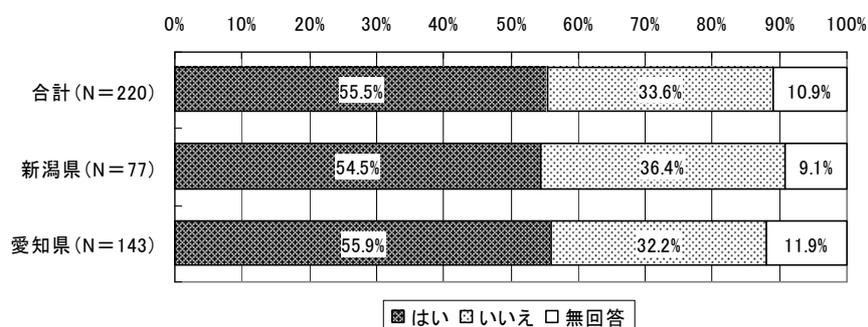
## 6) 糖尿病診療体制

### ア) 糖尿病精密検査の実施

糖尿病精密検査の実施の有無は、新潟県では「はい」(54.5%)、「いいえ」(36.4%)で、「はい」の場合、平成18年1年間の件数の平均値は2,014.87件、標準偏差は4,483.92であった。

また、愛知県では「はい」(55.9%)、「いいえ」(32.2%)で、「はい」の場合、件数の平均値は1,419.46件、標準偏差は4,625.92であった。

図表 69 糖尿病精密検査の実施の有無

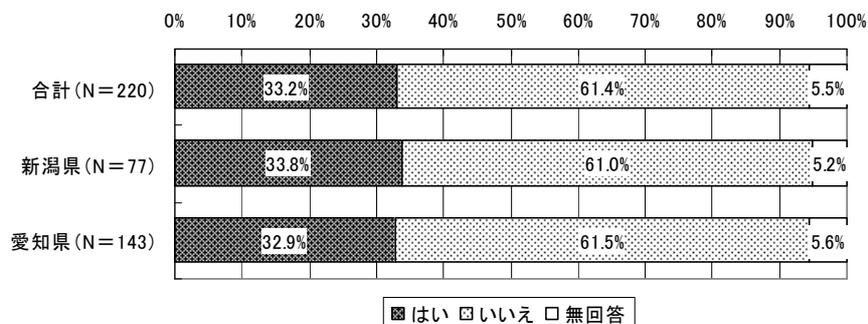


### イ) 人工透析の実施

人工透析の実施の有無は、新潟県では「はい」(33.8%)、「いいえ」(61.0%)で、「はい」の場合、平成18年1年間の件数の平均値は8,419.52件、標準偏差は6,741.10であった。

また、愛知県では「はい」(32.9%)、「いいえ」(61.5%)で、「はい」の場合、件数の平均値は7,574.79件、標準偏差は10,090.11であった。

図表 70 人工透析の実施の有無

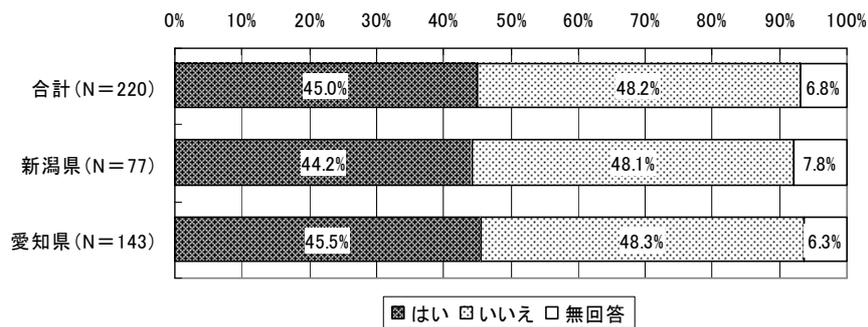


ウ) 糖尿病教育入院の実施

糖尿病教育入院の実施の有無は、新潟県では「はい」(44.2%)、「いいえ」(48.1%)で、「はい」の場合、平成18年1年間の件数の平均値は35.08件、標準偏差は44.41であった。

また、愛知県では「はい」(45.5%)、「いいえ」(48.3%)で、「はい」の場合、件数の平均値は62.53件、標準偏差は67.96であった。

図表 71 糖尿病教育入院の実施の有無

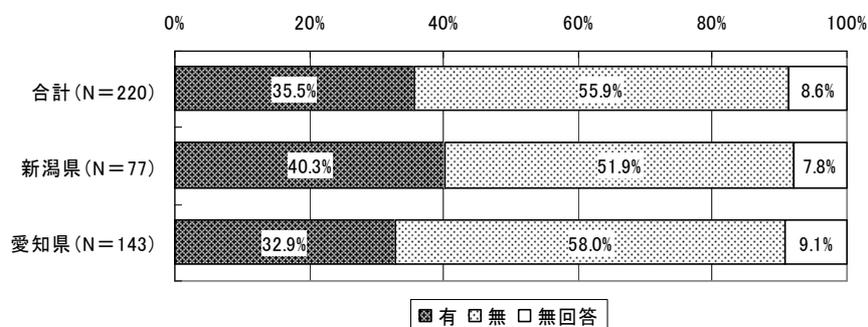


エ) 糖尿病性網膜症の治療実績

糖尿病性網膜症の治療実績の有無は、新潟県では「有」(40.3%)、「無」(51.9%)で、「有」の場合、平成18年1年間の件数の平均値は458.60件、標準偏差は1,038.94であった。

また、愛知県では「有」(32.9%)、「無」(58.0%)で、「有」の場合、件数の平均値は382.19件、標準偏差は603.41であった。

図表 72 糖尿病性網膜症の治療実績の有無

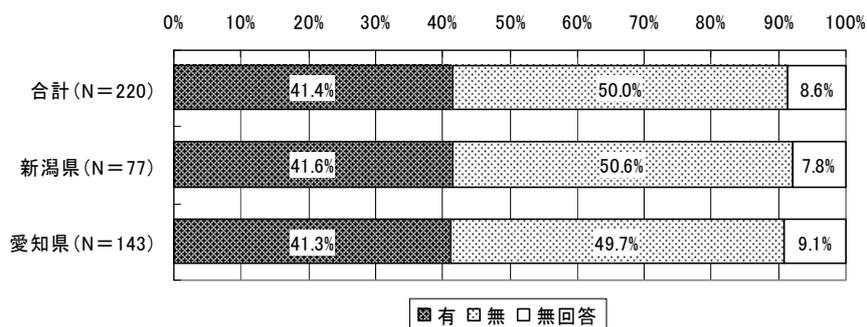


オ) 糖尿病性神経障害の治療実績

糖尿病性神経障害の治療実績の有無は、新潟県では「有」(41.6%)、「無」(50.6%)で、「有」の場合、平成18年1年間の件数の平均値は195.57件、標準偏差は422.97であった。

また、愛知県では「有」(41.3%)、「無」(49.7%)で、「有」の場合、件数の平均値は96.30件、標準偏差は139.90であった。

図表 73 糖尿病性神経障害の治療実績の有無

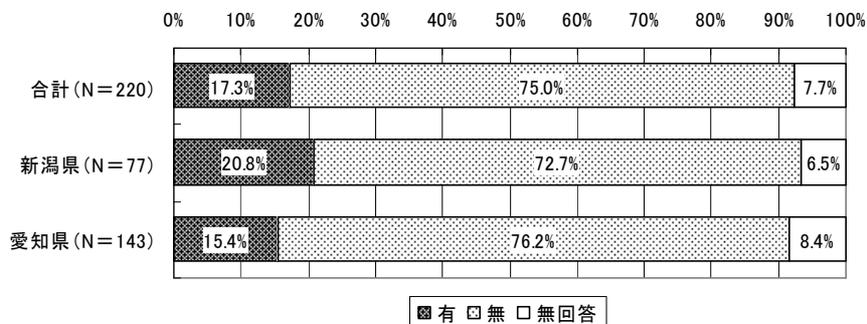


カ) 在宅自己腹膜還流の治療

在宅自己腹膜還流の治療の有無は、新潟県では「有」(20.8%)、「無」(72.7%)で、「有」の場合、平成18年1年間の件数の平均値は242.93件、標準偏差は404.25であった。

また、愛知県では「有」(15.4%)、「無」(76.2%)で、「有」の場合、件数の平均値は121.76件、標準偏差は141.90であった。

図表 74 在宅自己腹膜還流の治療の有無



キ) 1ヶ月間の糖尿病患者の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)の糖尿病患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 75 平成19年1月1ヶ月間の糖尿病患者の状況

(単位:人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
外来実患者数	77	484.14	575.69	143	404.61	660.17
新規外来実患者数	77	18.57	34.86	143	17.20	38.15
入院実患者数	77	54.93	75.50	143	30.00	54.92
教育入院実患者数	77	2.20	4.75	143	2.22	4.80
新規入院実患者数	77	21.15	39.58	143	12.71	32.04

ク) 1ヶ月間に紹介を受けた糖尿病患者の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)に紹介を受けた糖尿病患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 76 平成19年1月1ヶ月間に紹介を受けた糖尿病患者の状況

(単位:人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
他院からの紹介実患者数	77	9.08	24.93	143	6.08	10.18
うち診療所からの紹介実患者数	77	6.93	23.10	143	3.68	7.15
うち病院からの紹介実患者数	77	1.67	3.17	143	1.94	2.73
紹介患者数のうち入院した実患者数	77	3.37	8.83	143	2.65	4.08

ケ) 1ヶ月間の糖尿病患者退院患者の転帰の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)の糖尿病患者退院患者の転帰の状況は、以下のとおりであった。

図表 77 平成19年1月1ヶ月間の糖尿病患者退院患者の転帰の状況

(単位：人)

		新潟県			愛知県		
		N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
退院実患者数		77	16.30	30.85	143	12.13	25.78
転帰	他病院	77	1.32	4.93	143	1.11	2.98
	診療所	77	0.82	3.13	143	1.82	7.34
	自宅	77	9.38	15.43	143	8.57	17.12
	施設	77	0.38	0.89	143	0.28	0.65
	死亡退院	77	1.33	2.54	143	1.08	2.22

コ) 1ヶ月間に他院へ紹介した糖尿病患者退院患者の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)に他院へ紹介した糖尿病患者退院患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 78 平成19年1月1ヶ月間に他院へ紹介した糖尿病患者退院患者の状況

(単位：人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
総数	77	8.56	23.32	143	12.13	29.11
診療所への紹介実患者数	77	3.98	11.54	143	6.36	18.53
病院への紹介実患者数	77	3.26	8.19	143	3.69	8.44

サ) 1ヶ月間の糖尿病合併症患者の状況

- 糖尿病性網膜症または疑い患者

糖尿病性網膜症または疑い患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 79 糖尿病性網膜症または疑い患者

(単位：人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
外来実患者数	77	61.69	102.47	143	100.18	245.54
入院実患者数	77	4.71	8.59	143	5.70	14.01
他院からの紹介実患者数	77	2.33	9.26	143	7.08	45.97
うち入院した実患者数	77	0.73	2.40	143	1.06	4.13
他院への紹介実患者数	77	0.85	2.60	143	4.33	13.28

- 糖尿病性神経障害または疑い患者

糖尿病性神経障害または疑い患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 80 糖尿病性神経障害または疑い患者

(単位：人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
外来実患者数	77	31.47	49.45	143	27.08	58.29
入院実患者数	77	2.94	5.84	143	3.68	11.47
他院からの紹介実患者数	77	1.13	4.26	143	0.32	1.27
うち入院した実患者数	77	0.59	1.81	143	0.06	0.23
他院への紹介実患者数	77	0.63	1.54	143	1.00	3.50

- 糖尿病に起因して透析を要する患者

糖尿病に起因して透析を要する患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 81 糖尿病に起因して透析を要する患者

(単位：人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
外来実患者数	77	6.00	9.81	143	7.20	17.71
入院実患者数	77	1.76	3.49	143	3.32	7.05
他院からの紹介実患者数	77	0.33	1.59	143	0.31	1.21
うち入院した実患者数	77	0.36	1.65	143	0.28	1.27
他院への紹介実患者数	77	0.13	0.57	143	0.96	2.92

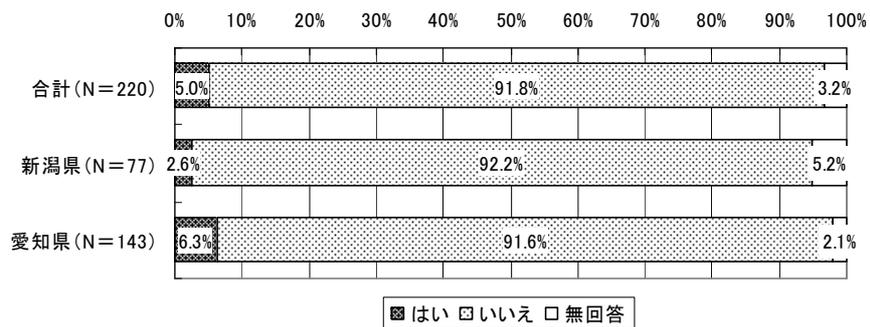
## 7) 救急医療体制

### ア) 救命救急センター

救命救急センターについては、新潟県では「はい」(2.6%)、「いいえ」(92.2%)であった。

また、愛知県では「はい」(6.3%)、「いいえ」(91.6%)であった。

図表 82 救命救急センター

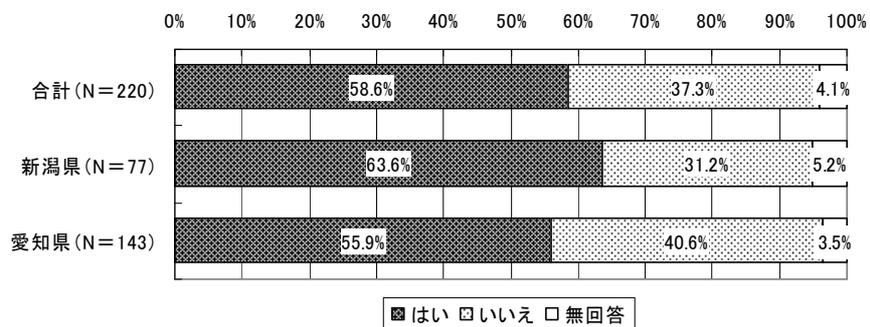


### イ) 救急告示病院

救急告示病院については、新潟県では「はい」(63.6%)、「いいえ」(31.2%)であった。

また、愛知県では「はい」(55.9%)、「いいえ」(40.6%)であった。

図表 83 救急告示病院

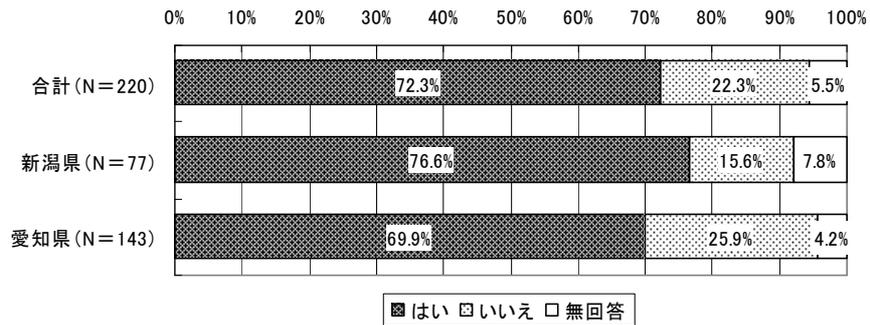


ウ) 救急患者の受け入れ

救急患者の受け入れの有無は、新潟県では「はい」(76.6%)、「いいえ」(15.6%)であった。

また、愛知県では「はい」(69.9%)、「いいえ」(25.9%)であった。

図表 84 救急患者の受け入れの有無



エ) 1ヶ月間の救急患者の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日~1月31日)の救急患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 85 平成19年1月1ヶ月間の救急患者の状況

(単位: 人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
救急受入実患者数	60	295.42	345.60	102	666.61	978.03
軽症	60	174.91	241.34	102	589.25	864.81
中等症	60	87.79	170.08	102	95.19	131.39
重症	60	20.93	30.61	102	46.81	88.07
死亡	60	4.27	4.81	102	5.62	7.72

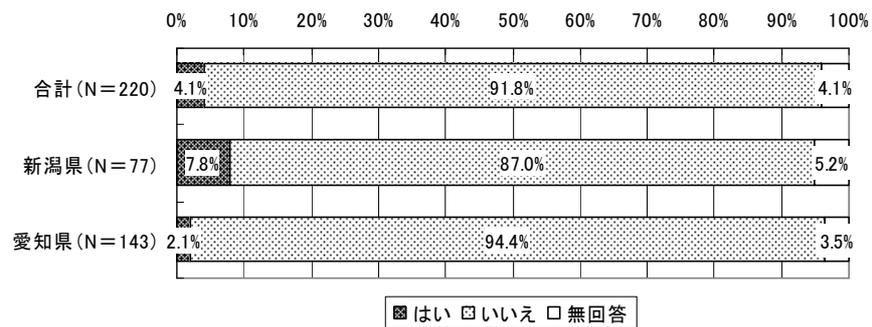
## 8) へき地医療体制

### ア) へき地医療拠点病院

へき地医療拠点病院については、新潟県では「はい」(7.8%)、「いいえ」(87.0%)であった。

また、愛知県では「はい」(2.1%)、「いいえ」(94.4%)であった。

図表 86 へき地医療拠点病院

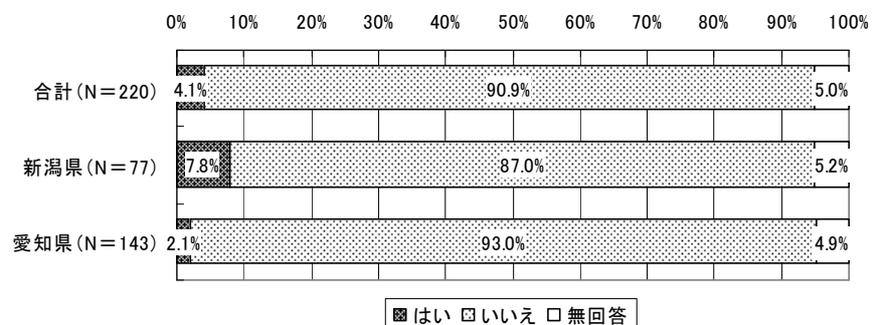


### イ) へき地診療所に医師を派遣した実績

へき地診療所に医師を派遣した実績の有無は、新潟県では「はい」(7.8%)、「いいえ」(87.0%)であった。

また、愛知県では「はい」(2.1%)、「いいえ」(93.0%)であった。

図表 87 へき地診療所に医師を派遣した実績の有無



ウ) 1ヶ月間に紹介を受けた患者の状況

平成19年1月1ヶ月間に紹介を受けた患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 88 平成19年1月1ヶ月間に紹介を受けた患者の状況

(単位：人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
病院全体の紹介実患者数	8	354.00	367.83	3	376.33	245.20
入院した実患者数	8	49.67	39.18	3	29.00	1.00
へき地診療所からの紹介実患者数	8	4.67	4.11	3	8.50	4.50
入院した実患者数	8	2.00	1.41	3	1.00	0.00

エ) 1ヶ月間に元の医療機関に返送した患者の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)に元の医療機関に返送した患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 89 平成19年1月1ヶ月間に元の医療機関に返送した患者の状況

(単位：人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
元の医療機関へ返送した実患者数 (へき地診療所に限らない)	8	217.50	204.23	3	1.00	0.00
へき地診療所への返送患者数	8	1.33	1.25	3	0.00	0.00

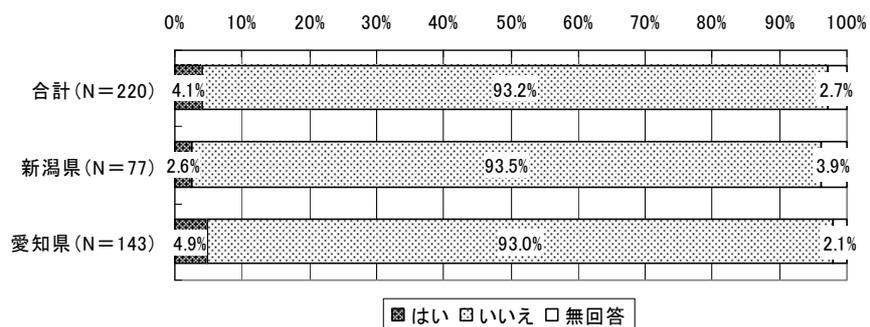
## 9) 小児医療・小児救急体制

### ア) 救命救急センター

救命救急センターについては、新潟県では「はい」(2.6%)、「いいえ」(93.5%)であった。

また、愛知県では「はい」(4.9%)、「いいえ」(93.0%)であった。

図表 90 救命救急センター

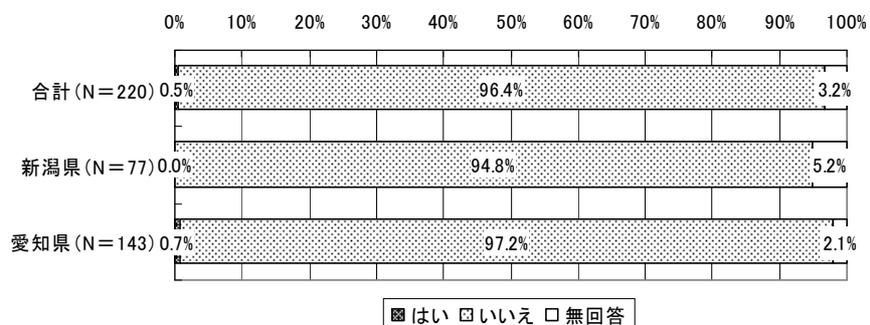


### イ) 小児救急医療拠点病院

小児救急医療拠点病院については、新潟県では「はい」(0.0%)、「いいえ」(94.6%)であった。

また、愛知県では「はい」(0.7%)、「いいえ」(97.2%)であった。

図表 91 小児救急医療拠点病院

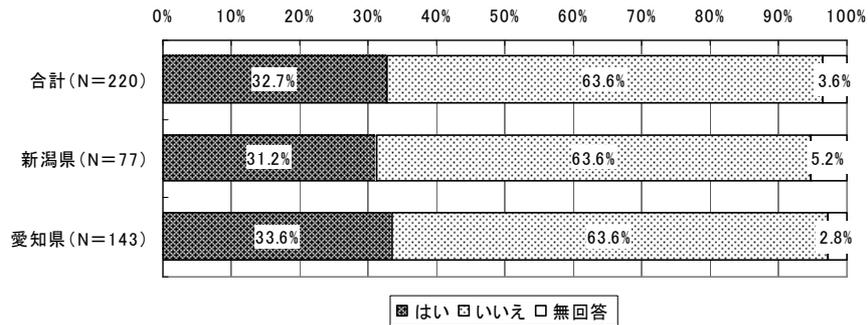


ウ) 小児救急に対応した実績

小児救急医療に対応した実績の有無は、新潟県では「はい」(31.2%)、「いいえ」(63.6%)であった。

また、愛知県では「はい」(33.6%)、「いいえ」(63.6%)であった。

図表 92 小児救急医療に対応した実績の有無



エ) 1ヶ月間の小児患者の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日~1月31日)の小児患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 93 平成19年1月1ヶ月間の小児患者の状況

(単位:人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
外来実患者数	24	856.33	456.99	48	991.98	697.20
新規外来実患者数	24	325.43	193.29	48	343.95	318.49
救急・時間外実患者数	24	124.26	82.95	48	301.12	332.05
入院実患者数	24	68.74	65.73	48	135.38	255.16
新規入院実患者数	24	44.43	41.91	48	65.15	58.98

オ) 1ヶ月間に紹介を受けた小児患者の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)に紹介を受けた小児患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 94 平成19年1月1ヶ月間に紹介を受けた小児患者の状況

(単位：人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
他院からの紹介実患者数	24	13.28	18.79	48	37.93	38.61
うち診療所からの紹介実患者数	24	11.71	18.72	48	32.47	35.87
うち病院からの紹介実患者数	24	1.80	3.19	48	5.09	6.28
紹介患者のうち入院した実患者数	24	11.24	16.79	48	19.92	21.21

カ) 1ヶ月間の小児退院患者の転帰の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)の小児退院患者の転帰の状況は、以下のとおりであった。

図表 95 平成19年1月1ヶ月間の小児退院患者の転帰の状況

(単位：人)

	新潟県			愛知県			
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差	
退院実患者数	24	48.10	49.14	48	75.17	62.75	
転帰	他病院	24	0.31	0.46	48	1.03	2.02
	診療所	24	0.77	2.15	48	4.94	14.24
	自宅	24	44.69	50.72	48	67.14	60.03
	施設	24	0.00	0.00	48	0.00	0.00
	死亡退院	24	0.00	0.00	48	0.11	0.32

キ) 1ヶ月間に他院へ紹介した小児退院患者の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日~1月31日)に他院へ紹介した小児退院患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 96 平成19年1月1ヶ月間に他院へ紹介した小児退院患者の状況

(単位:人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
総数	24	3.45	10.64	48	9.68	18.84
診療所への紹介実患者数	24	0.71	1.93	48	8.62	19.81
病院への紹介実患者数	24	0.47	0.78	48	1.47	2.47

## 10) 周産期医療体制

### ア) 総合周産期医療センター

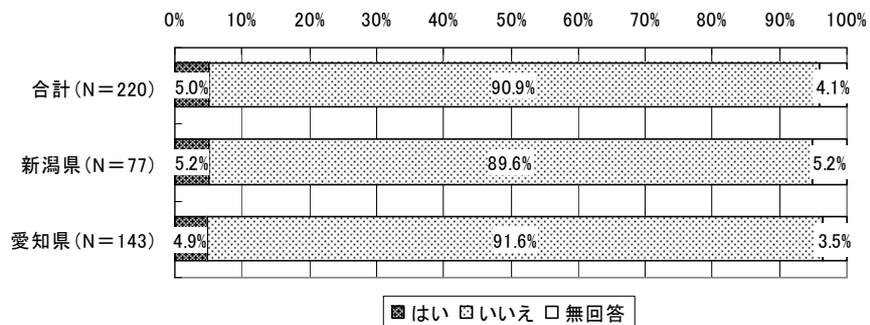
総合周産期医療センターについては、新潟県および愛知県、両県ともに「はい」の回答はなかった。

### イ) 地域周産期医療センター

地域周産期医療センターについては、新潟県では「はい」(5.2%)、「いいえ」(89.6%)であった。

また、愛知県では「はい」(4.9%)、「いいえ」(91.6%)であった。

図表 97 地域周産期医療センター



### ウ) 1ヶ月間の周産期患者の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)の周産期患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 98 平成19年1月1ヶ月間の周産期患者の状況

(単位：人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
外来実患者数	4	179.50	58.50	7	248.67	88.93
新規外来実患者数	4	81.00	0.00	7	30.33	16.66
入院実患者数	4	110.00	97.02	7	74.20	44.45
新規入院実患者数	4	84.33	84.71	7	61.60	35.02

エ) 1ヶ月間に紹介を受けた周産期患者の状況

平成19年1月1ヶ月間（1月1日～1月31日）に紹介を受けた周産期患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 99 平成19年1月1ヶ月間に紹介を受けた周産期患者の状況

(単位：人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
他院からの紹介実患者数	4	7.33	3.09	7	10.80	8.75
うち診療所からの紹介実患者数	4	4.67	2.05	7	8.75	7.43
うち病院からの紹介実患者数	4	2.67	1.25	7	4.00	2.74
紹介患者のうち入院した実患者数	4	2.00	0.00	7	4.00	3.54

オ) 1ヶ月間の周産期退院患者の転帰の状況

平成19年1月1ヶ月間（1月1日～1月31日）の周産期退院患者の転帰の状況は、以下のとおりであった。

図表 100 平成19年1月1ヶ月間の周産期退院患者の転帰の状況

(単位：人)

	新潟県			愛知県			
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差	
退院実患者数	4	108.00	83.02	7	66.20	37.42	
転帰	他病院	4	1.00	0.82	7	0.00	0.00
	診療所	4	0.00	0.00	7	0.25	0.43
	自宅	4	107.00	82.35	7	65.60	36.97
	施設	4	0.00	0.00	7	0.50	0.87
	死亡退院	4	0.00	0.00	7	0.00	0.00

カ) 1ヶ月間に他院へ紹介した周産期退院患者の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)に他院へ紹介した周産期退院患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 101 平成19年1月1ヶ月間に他院へ紹介した周産期退院患者の状況

(単位:人)

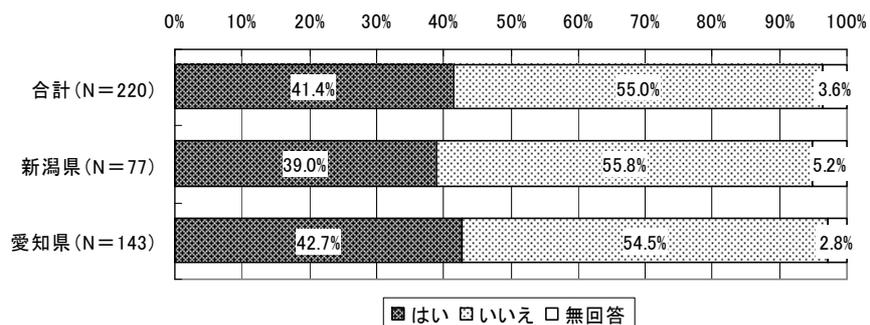
	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
総数	4	1.00	0.82	7	0.40	0.49
診療所への紹介実患者数	4	0.00	0.00	7	0.25	0.43
病院への紹介実患者数	4	1.00	0.82	7	0.20	0.40

## 11) 医療療養病床

### ア) 医療療養病床の有無

医療療養病床の有無は、新潟県では「はい」(39.0%)、「いいえ」(55.8%)であった。  
また、愛知県では「はい」(42.7%)、「いいえ」(54.5%)であった。

図表 102 医療療養病床の有無



### イ) 1ヶ月間の医療療養病床の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日~1月31日)の医療療養病床の状況は、以下のとおりであった。

図表 103 平成19年1月1ヶ月間の医療療養病床の状況

(単位：人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
入院実患者数	30	308.55	838.22	61	502.86	948.05
新規入院実患者数	30	5.57	12.84	61	18.04	69.91

ウ) 1ヶ月間に紹介を受けた医療療養病床の患者の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)に紹介を受けた医療療養病床の患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 104 平成19年1月1ヶ月間に紹介を受けた医療療養病床の患者の状況

(単位：人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
他院からの紹介実患者数	30	1.08	1.80	61	4.63	6.38
うち診療所からの紹介実患者数	30	0.27	0.75	61	0.45	1.16
うち病院からの紹介実患者数	30	1.00	1.76	61	3.76	5.52

エ) 1ヶ月間の医療療養病床からの退院患者の転帰の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)の医療療養病床からの退院患者の転帰の状況は、以下のとおりであった。

図表 105 平成19年1月1ヶ月間の医療療養病床からの退院患者の転帰の状況

(単位：人)

	新潟県			愛知県			
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差	
退院実患者数	30	5.43	3.50	61	10.09	11.17	
転帰	他病院	30	1.00	1.02	61	2.05	2.61
	診療所	30	0.00	0.00	61	0.15	0.55
	自宅	30	1.75	2.45	61	3.32	4.38
	施設	30	1.96	2.52	61	3.74	5.80
	死亡退院	30	1.42	1.87	61	3.93	4.67

オ) 1ヶ月間に他院へ紹介した医療療養病床からの退院患者の状況

平成19年1月1ヶ月間(1月1日～1月31日)に他院へ紹介した医療療養病床からの退院患者の状況は、以下のとおりであった。

図表 106 平成19年1月1ヶ月間に他院へ紹介した医療療養病床からの退院患者の状況

(単位：人)

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
総数	30	1.56	2.12	61	2.04	3.09
診療所への紹介実患者数	30	0.14	0.46	61	0.24	0.71
病院への紹介実患者数	30	1.05	0.98	61	2.07	2.67

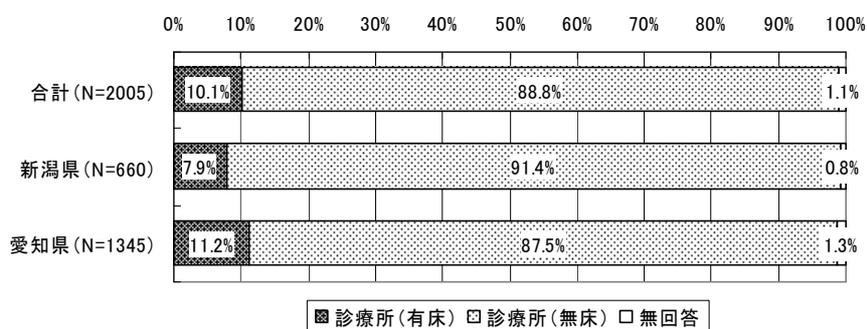
(2) 診療所票集計結果

1) 施設の属性

ア) 診療所の種別

診療所の種別は、新潟県では「有床」(7.9%)、「無床」(91.4%)であった。  
また、愛知県では「有床」(11.2%)、「無床」(87.5%)であった。

図表 107 診療所の種別



「有床」の場合、一般、医療療養、介護療養の各病床数については以下のとおりであった。

図表 108 病床数の状況

(単位：床)

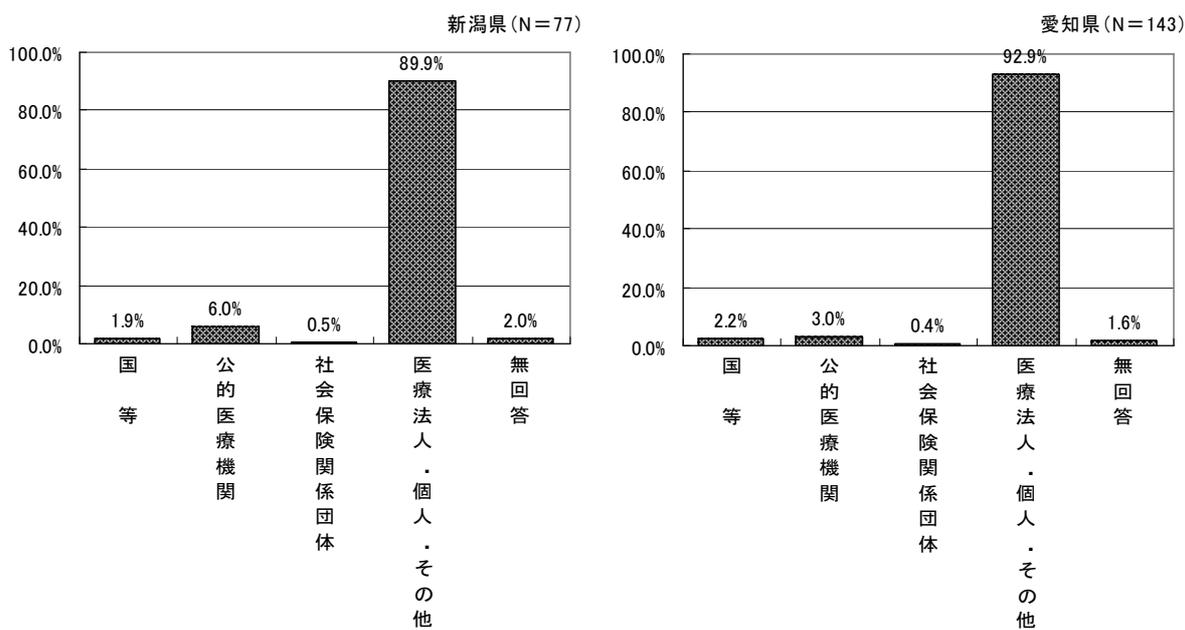
	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
一般病床数	52	9.84	6.42	151	10.49	7.26
医療療養病床数	52	2.71	6.65	151	5.58	6.79
介護療養病床数	52	2.14	5.25	151	4.61	13.43

イ) 開設主体

開設主体は、新潟県では「医療法人・個人・その他」(89.9%)が最も多く、次いで「公的医療機関」(6.0%)、「国 等」(1.9%)であった。

また、愛知県では「医療法人・個人・その他」(92.9%)が最も多く、次いで「公的医療機関」(3.0%)、「国 等」(2.2%)であった。

図表 109 開設主体

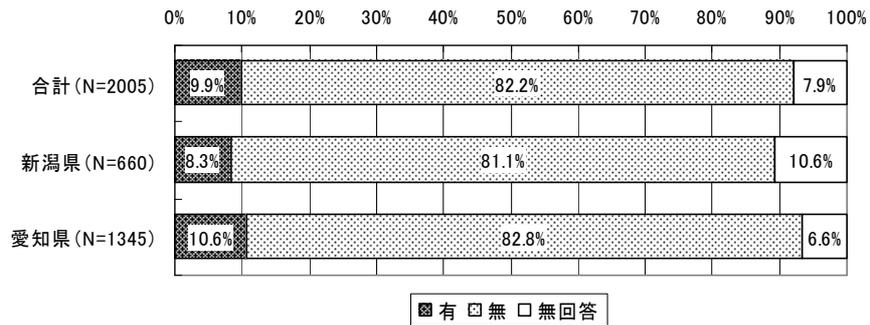


ウ) 在宅療養支援診療所の届出

在宅療養支援診療所の届出の有無は、新潟県では「有」(8.3%)、「無」(81.1%)であった。

また、愛知県では「有」(10.6%)、「無」(82.8%)であった。

図表 110 在宅療養支援診療所の届出の有無

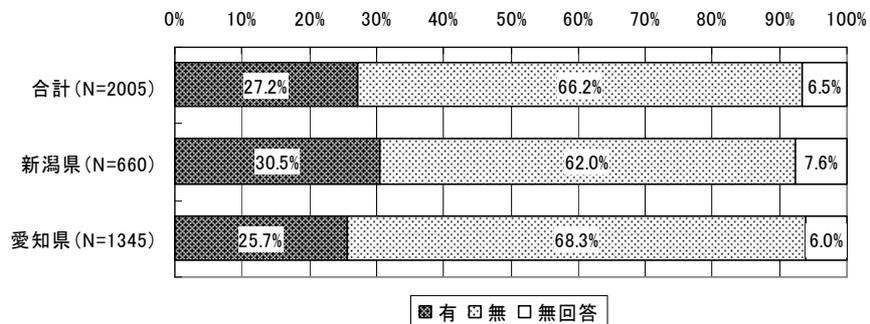


エ) 在宅患者訪問診療料の算定

在宅患者訪問診療料の算定の有無は、新潟県では「有」(30.5%)、「無」(62.0%)で、「有」の場合、平成19年1月1ヶ月の件数の平均値は15.20件、標準偏差は17.68であった。

また、愛知県では「有」(25.7%)、「無」(68.3%)で、「有」の場合、件数の平均値は9.67件、標準偏差は16.40であった。

図表 111 在宅患者訪問診療料の算定の有無

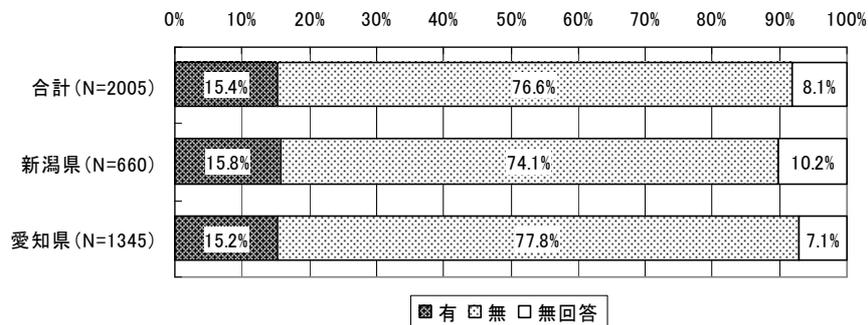


オ) 在宅時医学総合管理料の算定

在宅時医学総合管理料の算定の有無は、新潟県では「有」(15.8%)、「無」(74.1%)で、「有」の場合、平成19年1月1ヶ月の件数の平均値は12.67件、標準偏差は14.57であった。

また、愛知県では「有」(15.2%)、「無」(77.8%)、「有」の場合、件数の平均値は13.95件、標準偏差は22.24であった。

図表 112 在宅時医学総合管理料の算定の有無

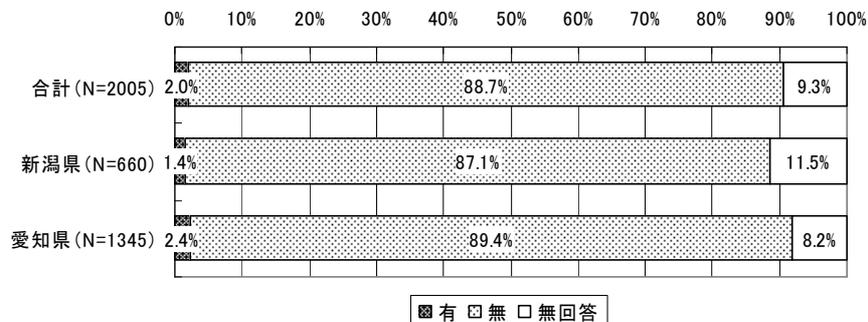


カ) 在宅末期医療総合診療料の算定

在宅末期医療総合診療料の算定の有無は、新潟県では「有」(1.4%)、「無」(87.1%)で、「有」の場合、平成19年1月1ヶ月の件数の平均値は0.86件、標準偏差は0.64であった。

また、愛知県では「有」(2.4%)、「無」(89.4%)で、「有」の場合、件数の平均値は0.88件、標準偏差は0.82であった。

図表 113 在宅末期医療総合診療料の算定の有無

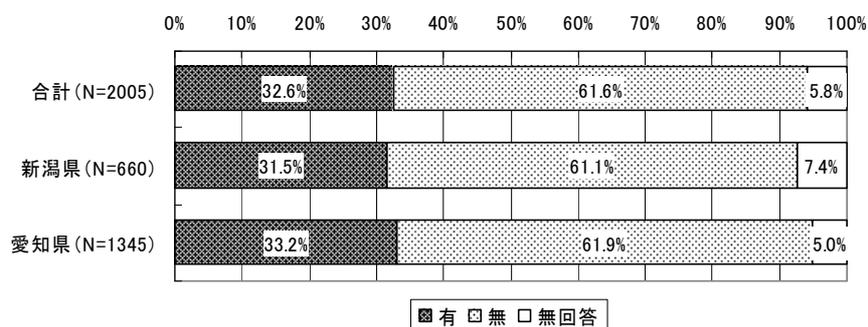


キ) 在宅自己注射指導管理料の算定

在宅自己注射指導管理料の算定の有無は、新潟県では「有」(31.5%)、「無」(61.1%)で、「有」の場合、平成19年1月1ヶ月の件数の平均値は7.36件、標準偏差は17.06であった。

また、愛知県では「有」(33.2%)、「無」(61.9%)で、「有」の場合、件数の平均値は10.99件、標準偏差は27.39であった。

図表 114 在宅自己注射指導管理料の算定の有無

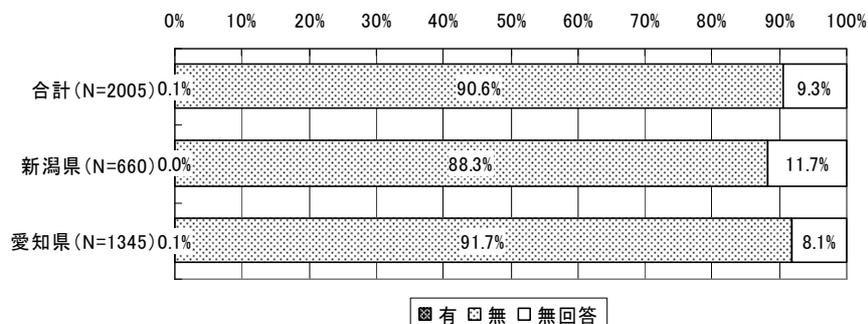


ク) 在宅血液透析指導管理料の算定

在宅血液透析指導管理料の算定の有無は、新潟県では「有」(0.0%)、「無」(88.3%)であった。

また、愛知県では「有」(0.1%)、「無」(91.7%)で、「有」の場合、平成19年1月1ヶ月の件数の平均値は18.50件、標準偏差は5.50であった。

図表 115 在宅血液透析指導管理料の算定の有無

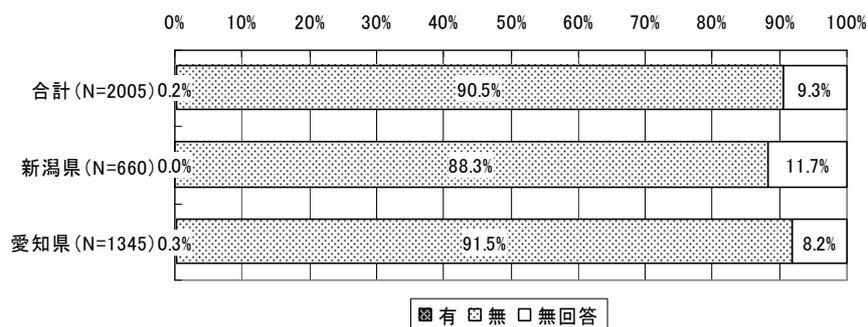


ケ) 在宅自己腹膜還流指管理料の算定

在宅自己腹膜還流指管理料の算定の有無は、新潟県では「有」(0.0%)、「無」(88.3%)であった。

また、愛知県では「有」(0.3%)、「無」(91.5%)で、「有」の場合、平成19年1月1ヶ月の件数の平均値は9.00件、標準偏差は9.90であった。

図表 116 在宅自己腹膜還流指管理料の算定の有無

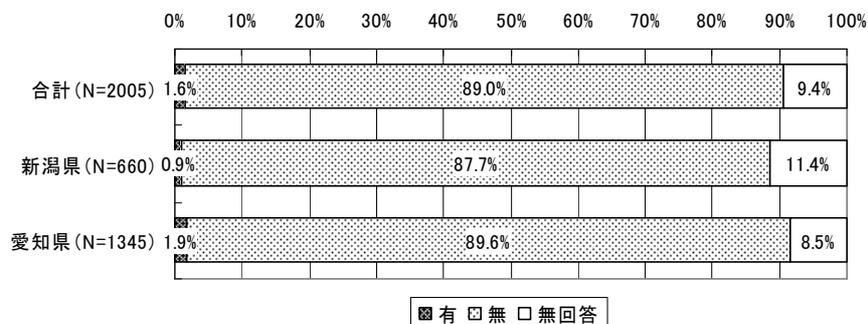


コ) 在宅悪性腫瘍患者指管理料の算定

在宅悪性腫瘍患者指管理料の算定の有無は、新潟県では「有」(0.9%)、「無」(87.7%)で、「有」の場合、平成19年1月1ヶ月の件数の平均値は2.83件、標準偏差は3.34であった。

また、愛知県では「有」(1.9%)、「無」(89.6%)で、「有」の場合、件数の平均値は3.46件、標準偏差は6.22であった。

図表 117 在宅悪性腫瘍患者指管理料の算定の有無

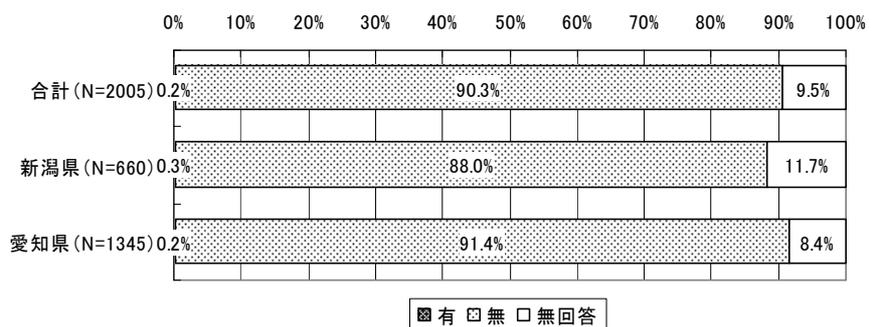


サ) 在宅在宅疼痛管理指導管理料の算定

在宅疼痛管理指導管理料の算定の有無は、新潟県では「有」(0.3%)、「無」(88.0%)で、「有」の場合、平成19年1月1ヶ月の件数の平均値は8.50件、標準偏差は3.50であった。

また、愛知県では「有」(0.2%)、「無」(91.4%)で、「有」の場合、件数の平均値は0.50件、標準偏差は0.50であった。

図表 118 在宅疼痛管理指導管理料の算定の有無



## 2) 1ヶ月間の診療実績

ア) 1ヶ月間の外来・入院実患者数および他院へ紹介した実患者数（総数）

平成19年1月1ヶ月間（1月1日～1月31日）の外来・入院実患者数および他院へ紹介した実患者数（総数）は、以下のとおりであった。

図表 119 平成19年1月1ヶ月間の外来・入院実患者数および他院へ紹介した実患者数（総数）

（単位：人、施設）

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
外来実患者数	660	765.62	996.40	1,345	769.70	1,033.70
入院実患者数	660	1.98	11.55	1,345	4.61	31.33
他院への紹介実患者数	660	9.94	15.30	1,345	10.23	18.28
紹介先の医療機関数(実数)	660	3.51	3.58	1,345	3.46	4.98

イ) 1ヶ月間の外来・入院実患者数および他院へ紹介した実患者数（糖尿病または疑い患者）

平成19年1月1ヶ月間（1月1日～1月31日）の外来・入院実患者数および他院へ紹介した実患者数（糖尿病または疑い患者）は、以下のとおりであった。

図表 120 平成19年1月1ヶ月間の外来・入院実患者数および他院へ紹介した実患者数（糖尿病または疑い患者）

（単位：人、施設）

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
外来実患者数	660	72.61	130.59	1,345	62.35	119.69
入院実患者数	660	0.07	0.61	1,345	0.47	4.41
他院への紹介実患者数	660	0.63	1.95	1,345	0.89	2.91
紹介先の医療機関数(実数)	660	0.48	1.20	1,345	0.54	1.45

ウ) 1ヶ月間の外来・入院実患者数および他院へ紹介した実患者数（糖尿病性網膜症または疑い患者）

平成19年1月1ヶ月間（1月1日～1月31日）の外来・入院実患者数および他院へ紹介した実患者数（糖尿病性網膜症または疑い患者）は、以下のとおりであった。

図表 121 平成19年1月1ヶ月間の外来・入院実患者数および他院へ紹介した実患者数（糖尿病性網膜症または疑い患者）

（単位：人、施設）

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
外来実患者数	660	5.64	18.17	1,345	10.35	32.32
入院実患者数	660	0.01	0.13	1,345	0.18	2.33
他院への紹介実患者数	660	0.22	1.15	1,345	0.59	4.29
紹介先の医療機関数(実数)	660	0.19	0.82	1,345	0.30	0.82

エ) 1ヶ月間の外来・入院実患者数および他院へ紹介した実患者数（糖尿病性神経障害または疑い患者）

平成19年1月1ヶ月間（1月1日～1月31日）の外来・入院実患者数および他院へ紹介した実患者数（糖尿病性神経障害または疑い患者）は、以下のとおりであった。

図表 122 平成19年1月1ヶ月間の外来・入院実患者数および他院へ紹介した実患者数（糖尿病性神経障害または疑い患者）

（単位：人、施設）

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
外来実患者数	660	2.98	11.35	1,345	5.22	19.84
入院実患者数	660	0.00	0.06	1,345	0.04	0.51
他院への紹介実患者数	660	0.03	0.19	1,345	0.10	0.58
紹介先の医療機関数(実数)	660	0.04	0.24	1,345	0.10	0.48

オ) 1ヶ月間の外来・入院実患者数および他院へ紹介した実患者数（糖尿病に起因して透析を要する患者）

平成19年1月1ヶ月間（1月1日～1月31日）の外来・入院実患者数および他院へ紹介した実患者数（糖尿病に起因して透析を要する患者）は、以下のとおりであった。

図表 123 平成19年1月1ヶ月間の外来・入院実患者数および他院へ紹介した実患者数（糖尿病に起因して透析を要する患者）

（単位：人、施設）

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
外来実患者数	660	0.34	2.73	1,345	2.21	27.74
入院実患者数	660	0.01	0.12	1,345	0.08	0.78
他院への紹介実患者数	660	0.01	0.17	1,345	0.13	1.04
紹介先の医療機関数(実数)	660	0.02	0.17	1,345	0.11	0.80

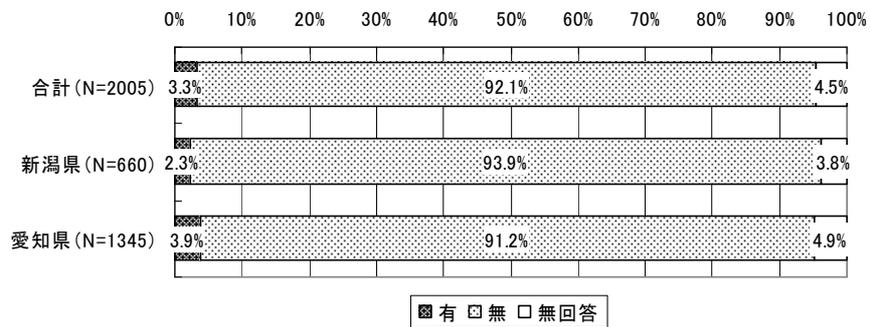
### 3) 地域連携クリティカルパスの状況

#### ア) 地域連携パス

地域連携パスの有無は、新潟県では「有」(2.3%)、「無」(93.9%)で、「有」の場合、パスの個数の平均値は2.0個、標準偏差は1.07であった。

また、愛知県では「有」(3.9%)、「無」(91.2%)で、「有」の場合、パスの個数の平均値は2.50個、標準偏差は2.16であった。

図表 124 地域連携パスの有無

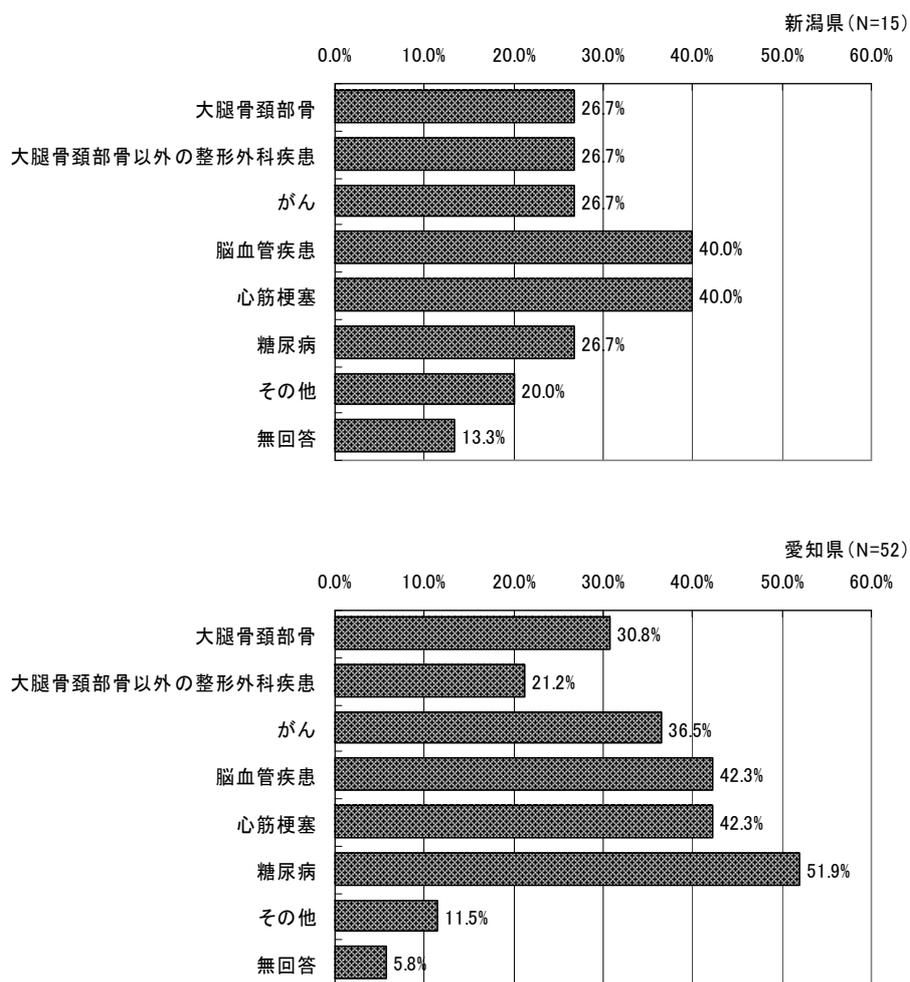


イ) 地域連携パスの対象疾患（複数回答）

地域連携パスの対象疾患としては、新潟県では「脳血管疾患」（40.0%）と「心筋梗塞」（40.0）が最も多く、次いで「大腿骨頸部骨」（26.7%）、「大腿骨頸部骨以外の整形外科疾患」（26.7%）、「がん」（26.7%）、「糖尿病」（26.7%）などであった。

また、愛知県では「糖尿病」（51.9%）が最も多く、次いで「脳血管疾患」（42.3%）、「心筋梗塞」（42.3%）などであった。

図表 125 地域連携パスの対象疾患（複数回答）



ウ) 地域連携パス適用実患者数

地域連携パス適用実患者数（平成 18 年度 1 年間の件数および平成 19 年 1 月 1 ヶ月間の件数）は、以下のとおりであった。

図表 126 地域連携パス適用実患者数

	新潟県			愛知県		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差
平成 18 年度 1 年間の件数 (件/年)	15	14.58	26.89	52	16.54	36.89
平成 19 年 1 月 1 ヶ月間の件数 (件/月)	15	1.50	2.72	52	2.20	3.88